

山鹿市
総合戦略等に関する市民アンケート調査
結果報告書

令和7年3月

山鹿市

目次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の実施要領・回答数	3
3. 調査結果利用上の注意.....	3
第2章 調査結果.....	5
1. ご自身の現在の状況について	7
2. 山鹿市の現状について.....	11
3. 人口政策について.....	17
4. 経済政策について.....	25
5. 山鹿市総合計画について	30
6. 山鹿市に対する考えについて.....	35
第3章 総括.....	51

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

総合戦略は、年度ごとの進捗管理を行い、適宜変更、見直しを行いながら目標の達成を目指している。進捗管理の中で、担当課による内部検証とあわせ、市民の認知度や満足度を把握し、次年度以降の戦略に反映させることを目的としている。

2. 調査の実施要領・回答数

調査時期	令和7年1月
調査対象者	山鹿市在住の市民から無作為に抽出した3,000人
調査方法	郵送による配布・回収及びインターネット回収

回答方法	配布数	有効回収数	有効回答率
郵送	3,000件	717件	23.9%
インターネット		243件	8.1%
計	3,000件	960件	32.0%

3. 調査結果利用上の注意

- ・各設問のnは、回答者数を表しています。
- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100%を超える場合があります。
- ・回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
- ・数表・図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。

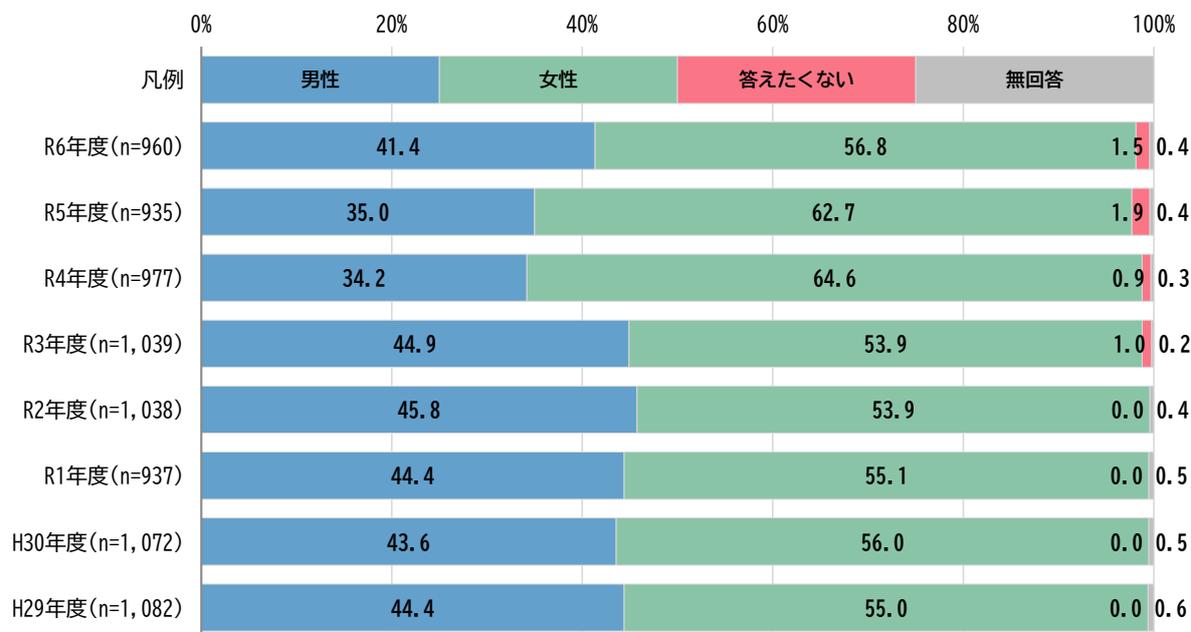
第2章 調査結果

1. ご自身の現在の状況について

問1 性別（単数回答）

○性別では、「男性」が41.4%、「女性」が56.8%、「答えたくない」が1.5%となっており、R5年度と比較し「男性」の割合が増加している。

【全体】



問2 年齢（単数回答）

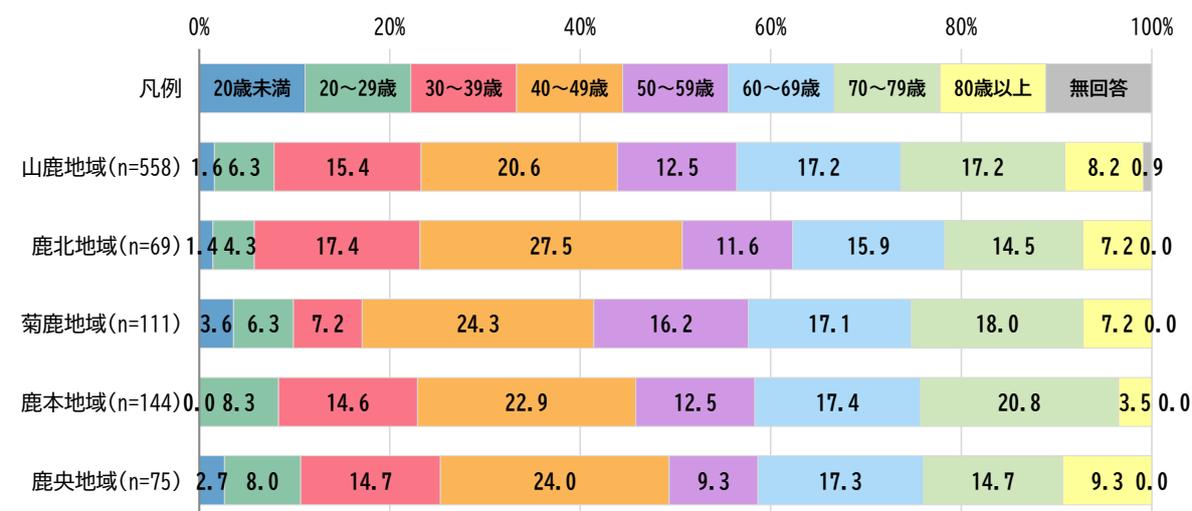
○年代別では、「40代」が22.2%と最も高く、次いで「70代」17.4%、「60代」17.1%となっており、「50代」以降の合計が54.7%と5割を超えている。

【全体】



○地域別年齢構成では、どの地域も「40代」が最も高くなっている。また、鹿北地域では「40代」以下、それ以外の地域では「50代」以降が5割を超えている。

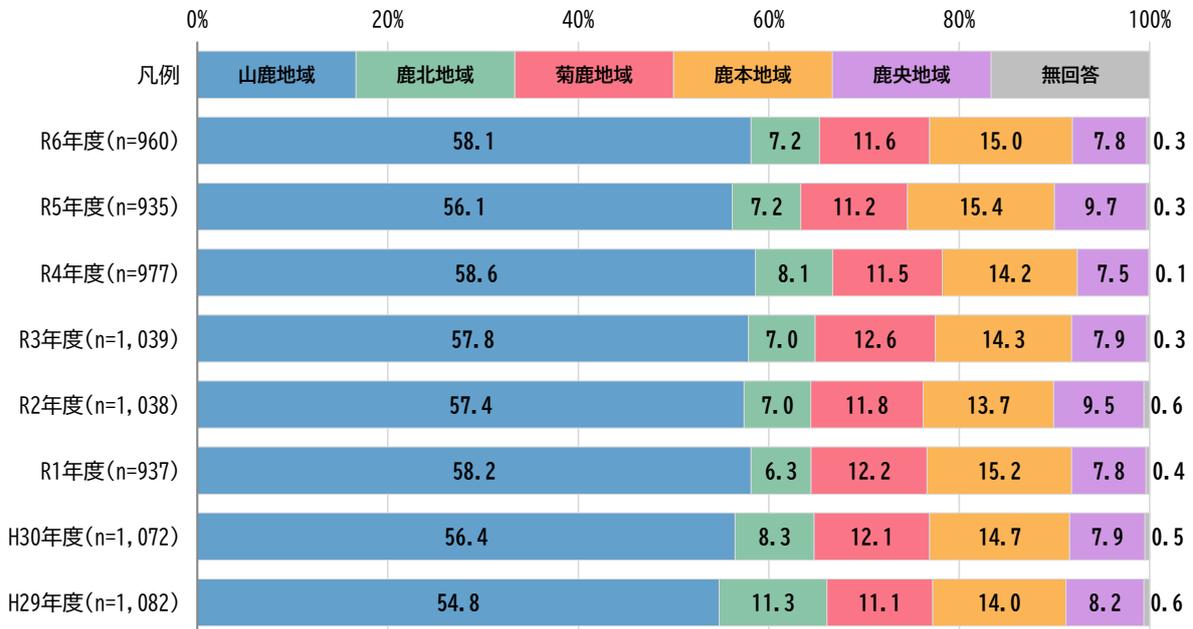
【地域別】



問3 お住まいの地域（単数回答）

○地域別では「山鹿地域」が58.1%と最も高く、約6割を占めている。

【全体】

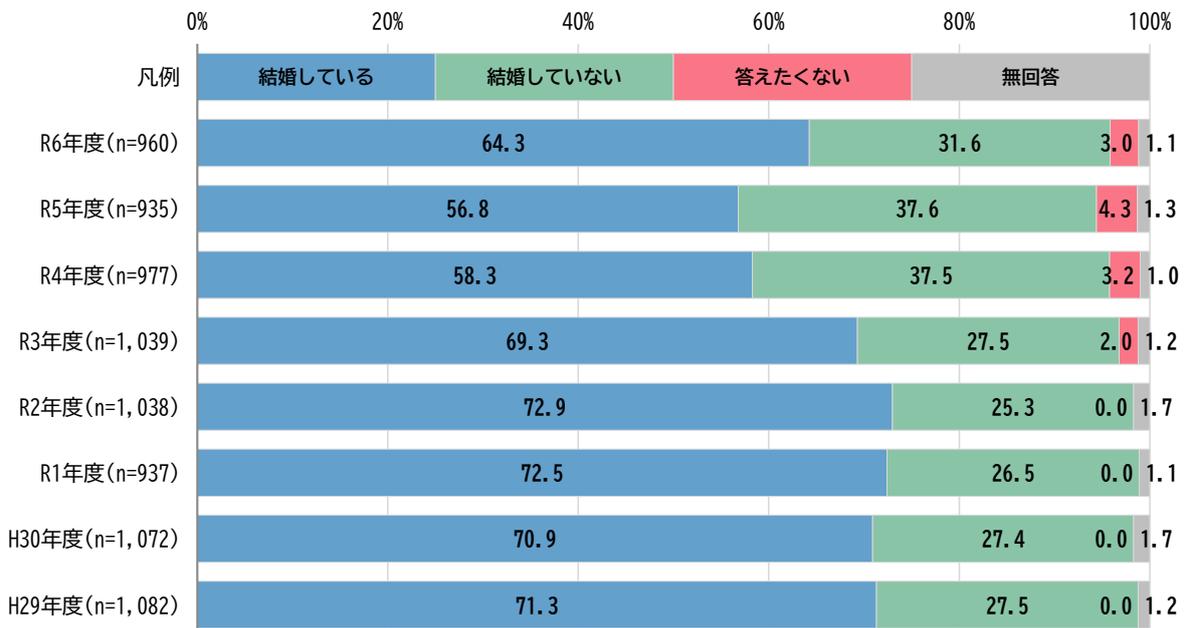


問4 結婚について（単数回答）

○結婚については、「結婚している」が64.3%、「結婚していない」が31.6%、「答えたくない」が3.0%となっている。

○過去調査との比較では、「結婚している」がR2年度までは7割を超えていたが、R4～5年度は5割台となり、R6年度は6割台となっている。また、R4年度以降は「結婚していない」が3割を超えている。

【全体】

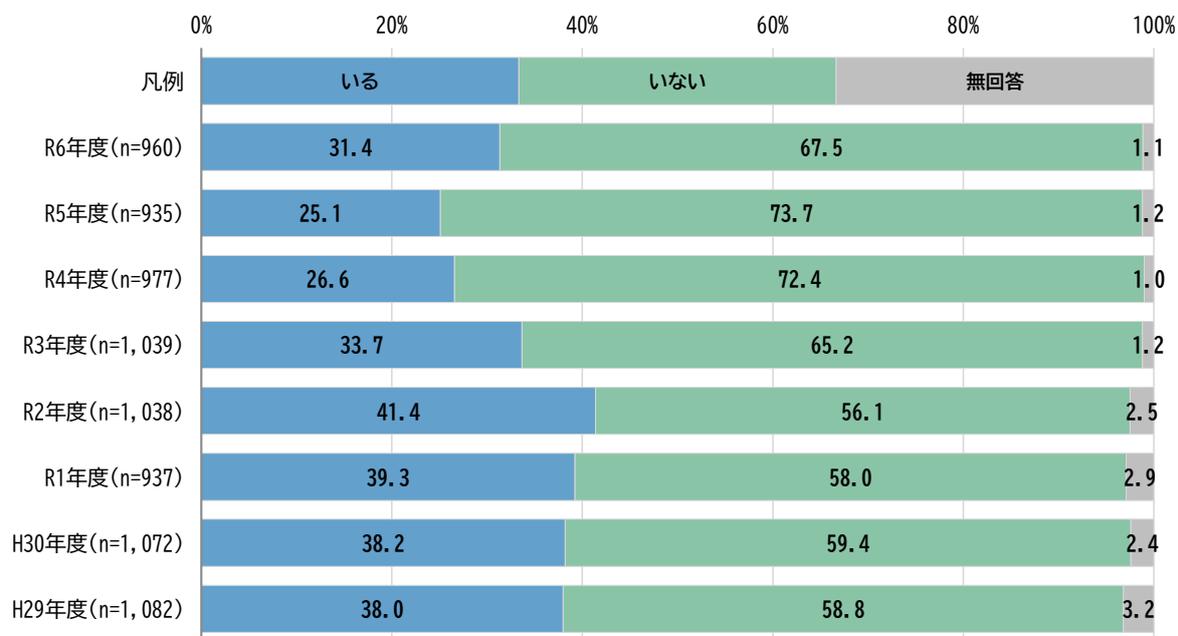


問5 同居しているお子様（18歳以下）の有無について（単数回答）

○同居の子どもについては、「いる」が31.4%、「いない」が67.5%となっている。

○過去調査との比較では、「いる」がR3年度までは3割を超えていたが、R4～5年度は2割台となり、R6年度は3割台となっている。

【全体】



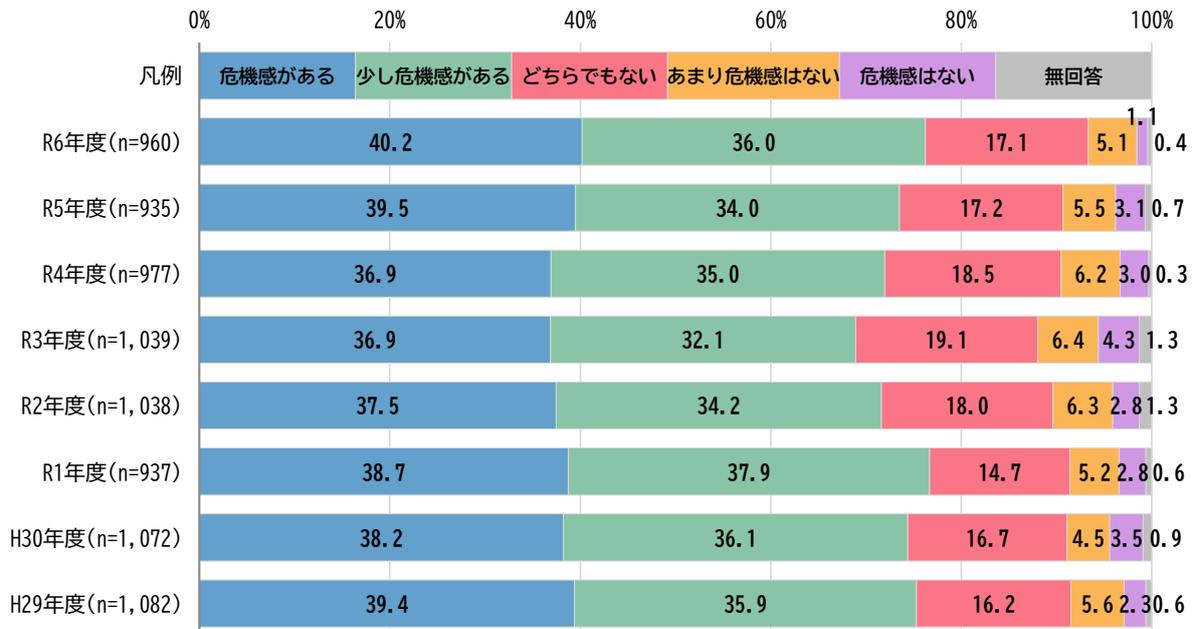
2. 山鹿市の現状について

問6 山鹿市の人口減少について（単数回答）

○山鹿市の人口減少については、「危機感がある」が40.2%と最も高く、次いで「少し危機感がある」36.0%、「どちらでもない」17.1%となっている。

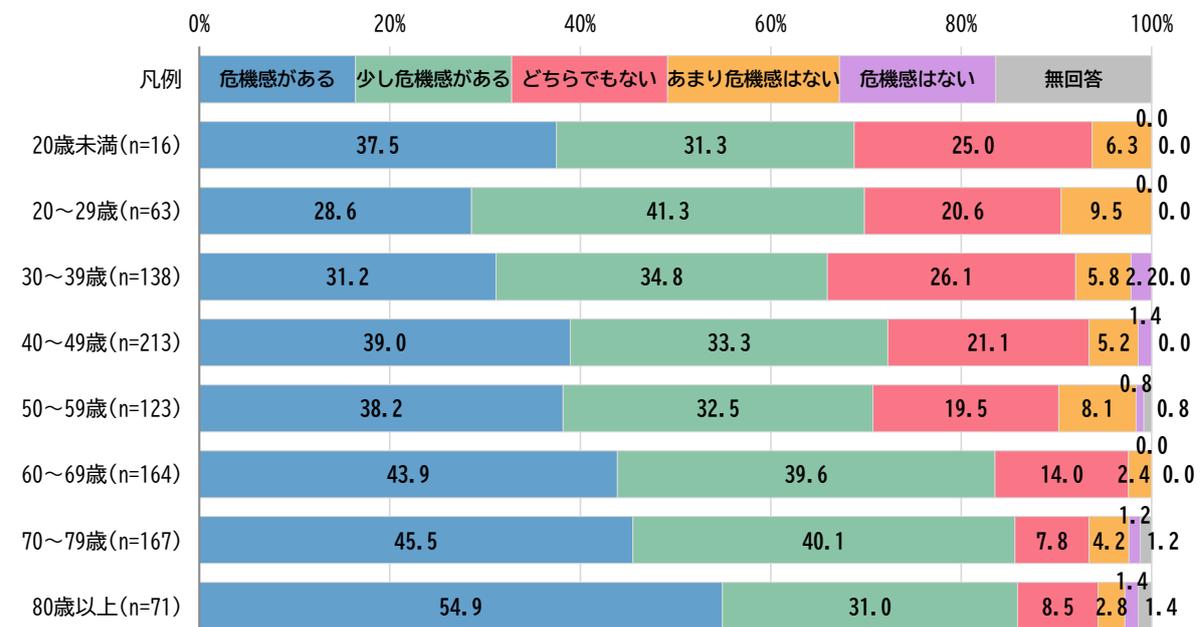
○各年度とも「危機感がある」が約4割、「少し危機感がある」が3割を超えている。

【全体】



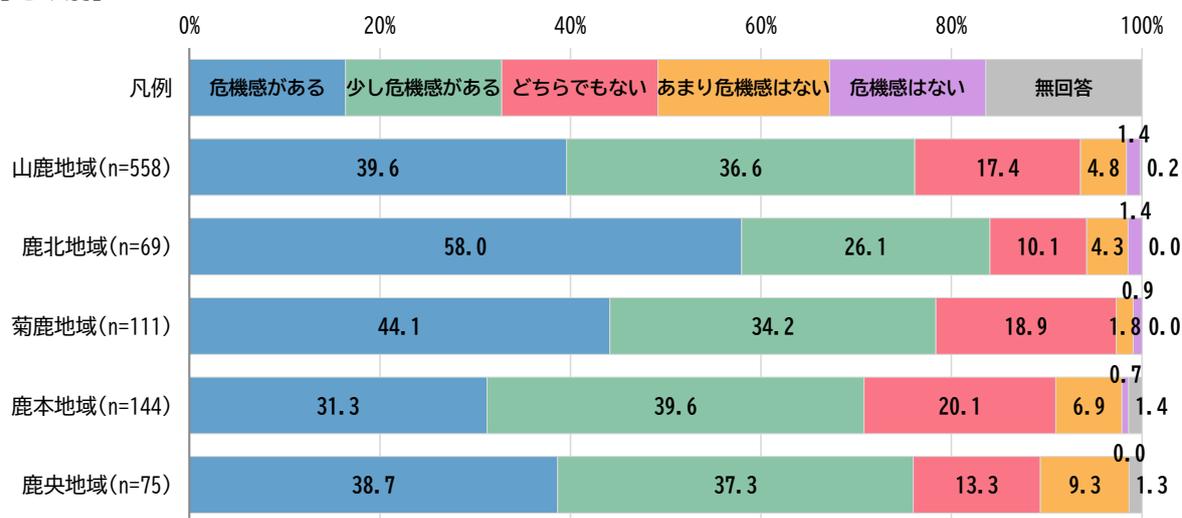
○年代別では、20歳未満で「危機感がある」が37.5%となっており、その他の年代では年代が高くなるにつれ、「危機感がある」割合が上昇し、80歳以上で最も高い54.9%となっている。

【年代別】



○地域別では、鹿本地域では「少し危機感がある」、それ以外の地域では「危機感がある」が最も高くなっており、鹿北地域では 58.0%と5割を超えている。また、どの地域も「危機感がある」、「少し危機感がある」が7割を超えており、特に鹿北地域では8割を超えている。

【地域別】

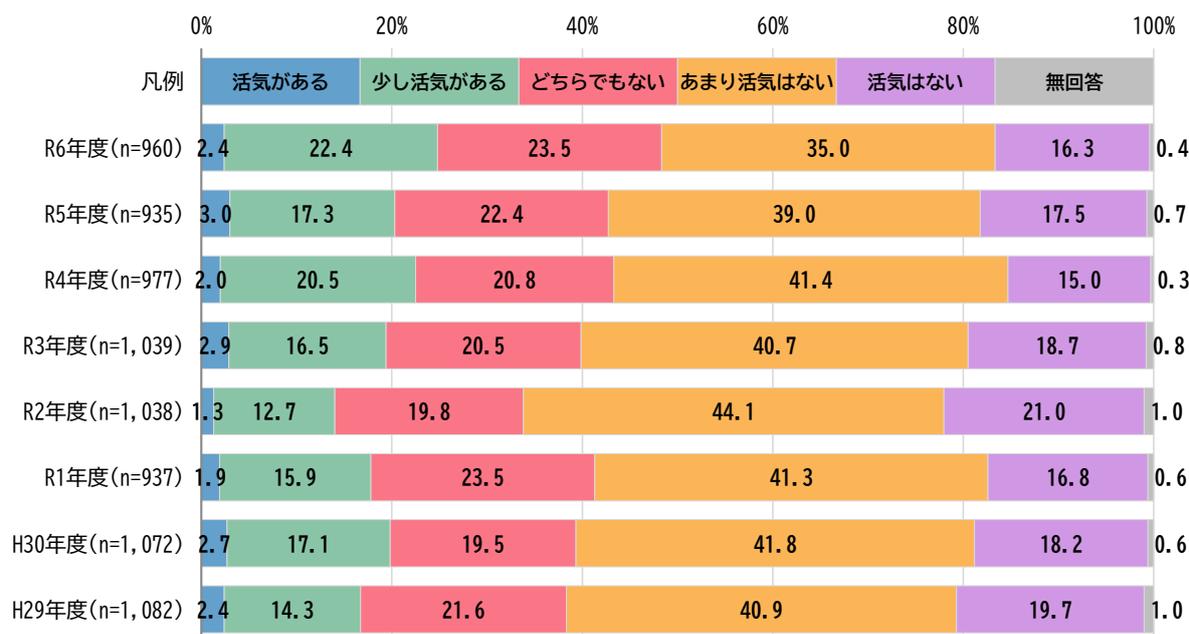


問7 山鹿市の元気度について（単数回答）

○山鹿市の元気度については、「活気がある」、「少し活気がある」が 24.8%、「あまり活気がない」、「活気はない」が5割を超えている。

○過去調査との比較では、「活気がある」、「少し活気がある」が R3 年度までは1割台だったが、R4 年度以降は2割台となっており、増加傾向がみられる。

【全体】



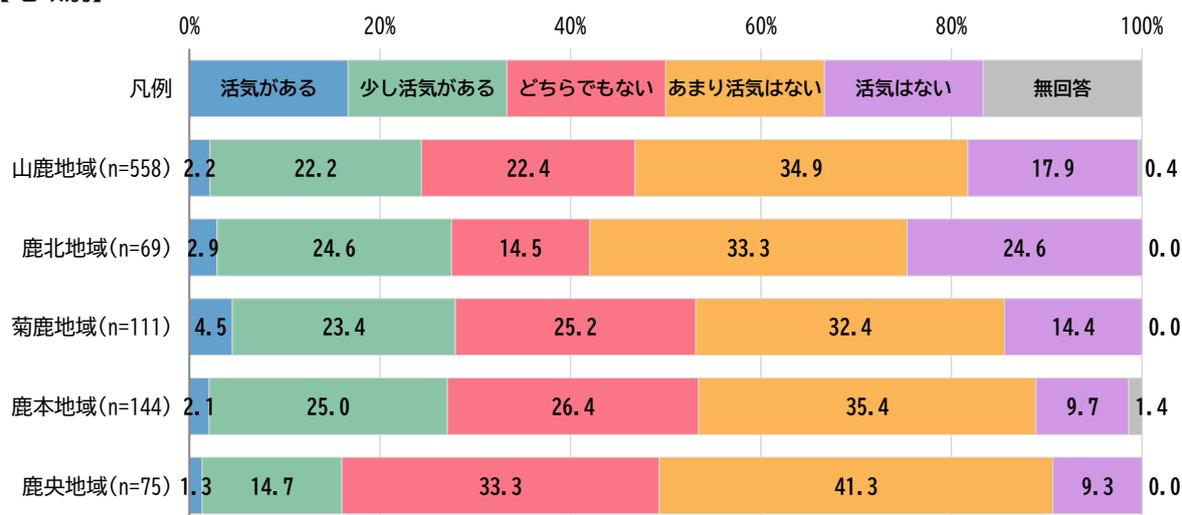
○年代別では、30代までは「活気がある」、「少し活気がある」が「あまり活気がない」、「活気はない」を上回っている。40代以降は「あまり活気がない」、「活気はない」が高くなっており、70代以降では6割を超えている。

【年代別】



○地域別では、どの地域も「あまり活気がない」、「活気はない」が「活気がある」、「少し活気がある」を上回っており、特に山鹿地域、鹿北地域、鹿央地域では5割を超えている。また、鹿央地域では「活気がある」、「少し活気がある」が1割台と他の地域と比べて低くなっている。

【地域別】



問8 山鹿市の基幹産業である農林業について（単数回答）

○農林業の現状については、「活気がある」、「少し活気がある」が12.2%、「少し衰退している」、「衰退している」が61.0%となっている。

○各年度においても同じ傾向が見られる。

【全体】



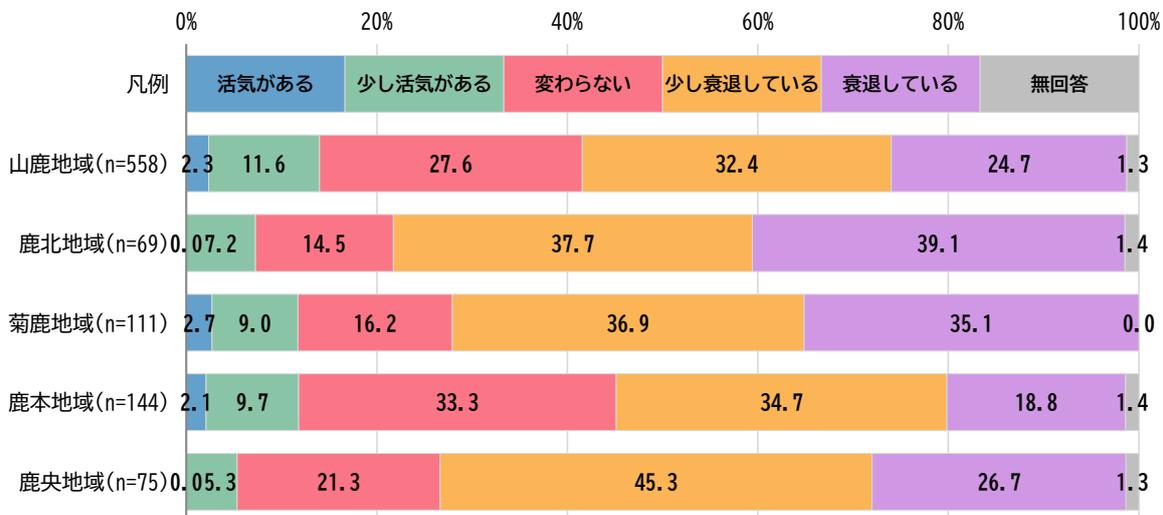
○年代別では、20代以降ではどの年代も「少し衰退している」、「衰退している」が「活気がある」、「少し活気がある」を上回っており、特に40代及び60代以降では6割を超えている。

【年代別】



○地域別では、どの地域も「少し衰退している」、「衰退している」が「活気がある」、「少し活気がある」を上回っており、特に鹿北地域、菊鹿地域、鹿央地域では7割を超えている。

【地域別】



問9 山鹿市が力を入れている山鹿灯籠などの観光産業について（単数回答）

○観光産業の現状については、「活気がある」、「少し活気がある」が42.5%、「少し衰退している」、「衰退している」が28.0%となっている。

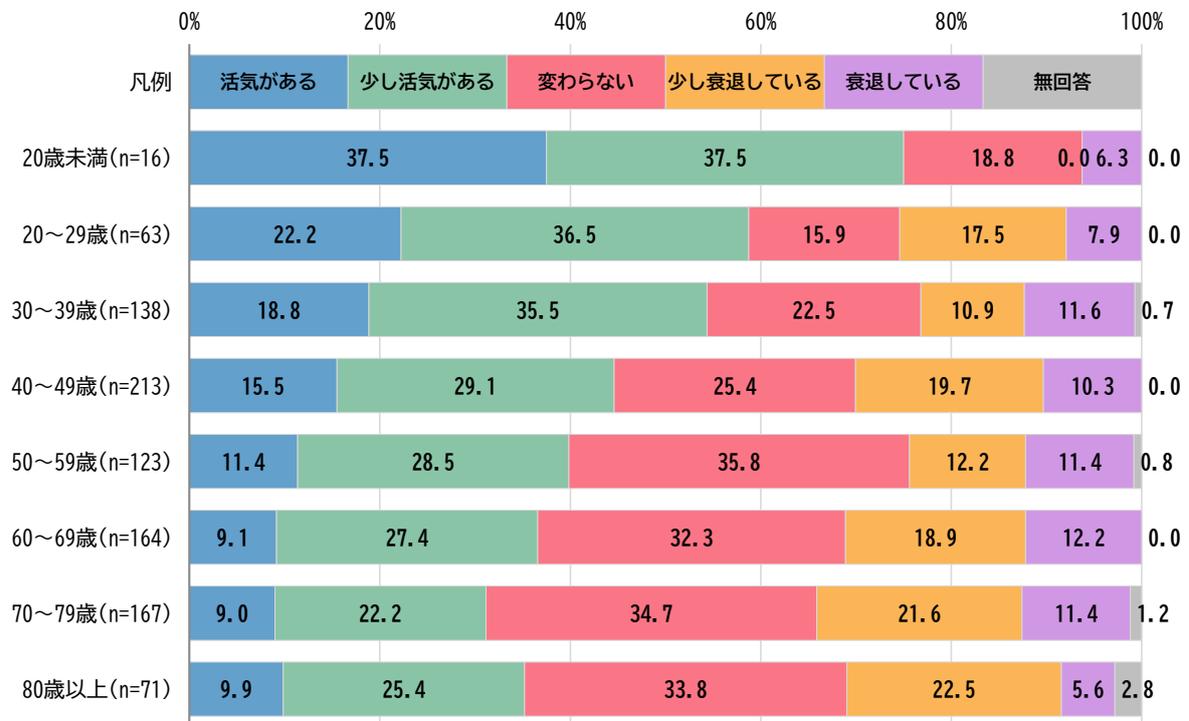
○過去調査との比較では、R4年度までは「少し衰退している」、「衰退している」が「活気がある」、「少し活気がある」を上回っていたが、R5年度以降は「活気がある」、「少し活気がある」が高くなっており、R6年度では4割台となっている。

【全体】



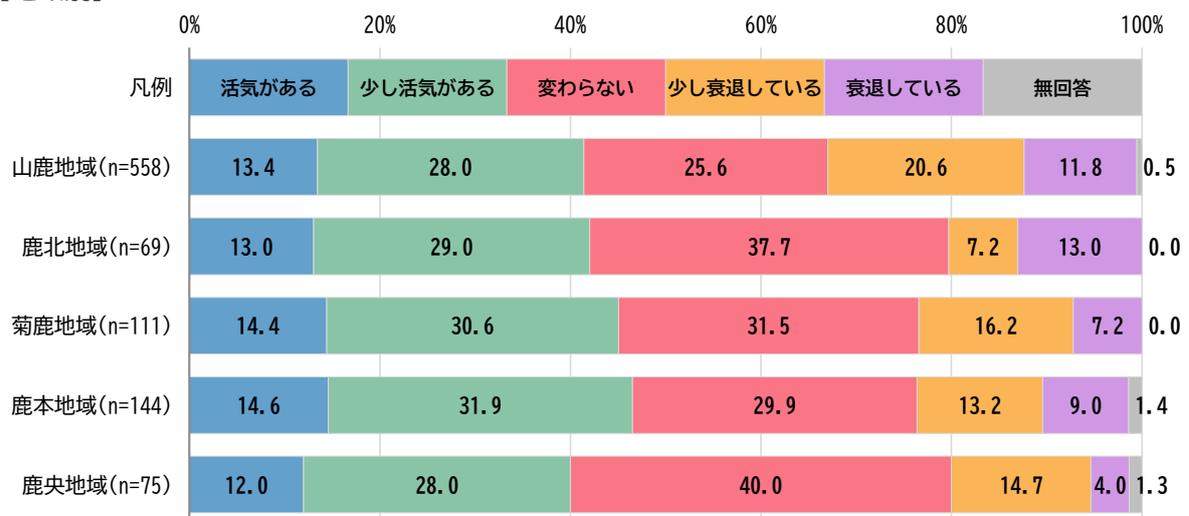
○年代別では、70代では「少し衰退している」、「衰退している」が「活気がある」、「少し活気がある」を上回っているが、それ以外の年代では「活気がある」、「少し活気がある」が高くなっており、30代までは5割を超えている。

【年代別】



○地域別では、どの地域も「活気がある」、「少し活気がある」が4割を超えており、「少し衰退している」、「衰退している」を上回っている。

【地域別】

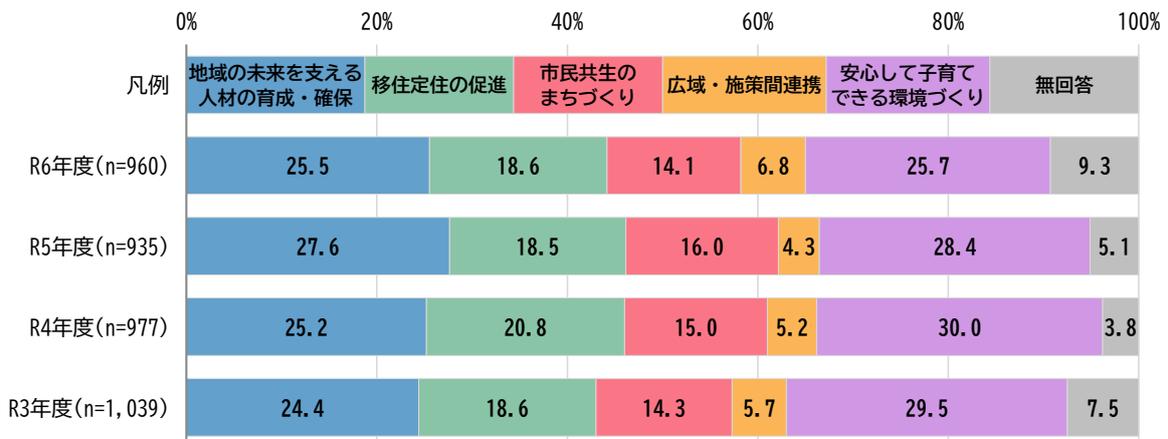


3. 人口政策について

問10 山鹿市総合戦略における、人口政策でもっとも充実してほしい取組について (単数回答)

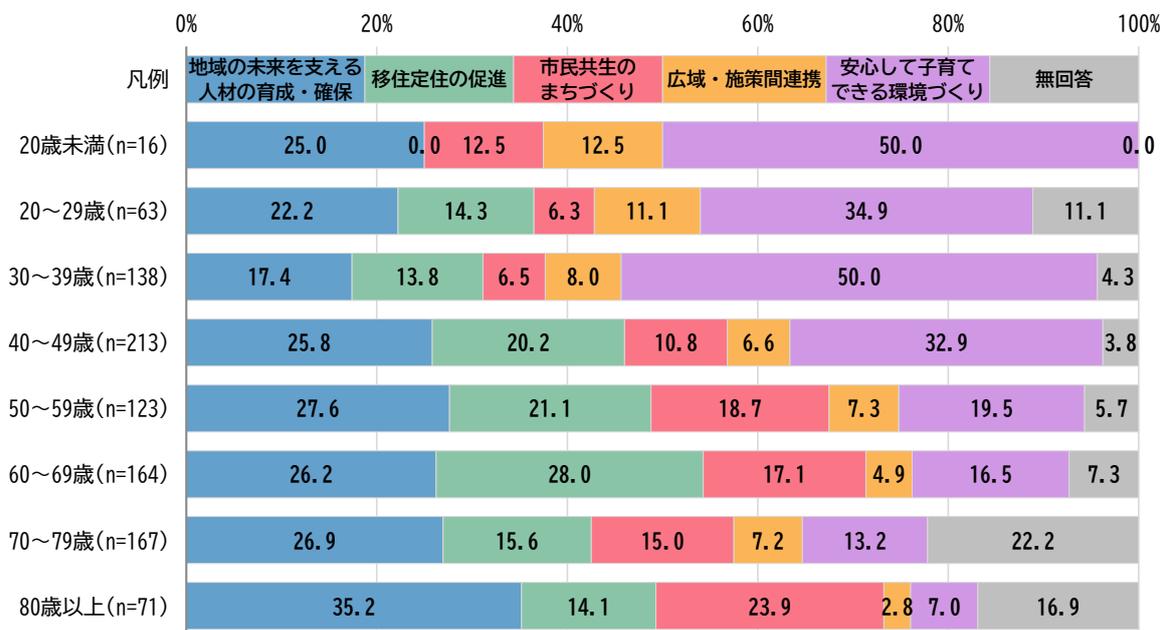
- 人口政策で充実してほしい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が25.7%と最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」25.5%、「移住定住の促進」18.6%となっている。
- 各年度においても同じ傾向が見られる。

【全体】



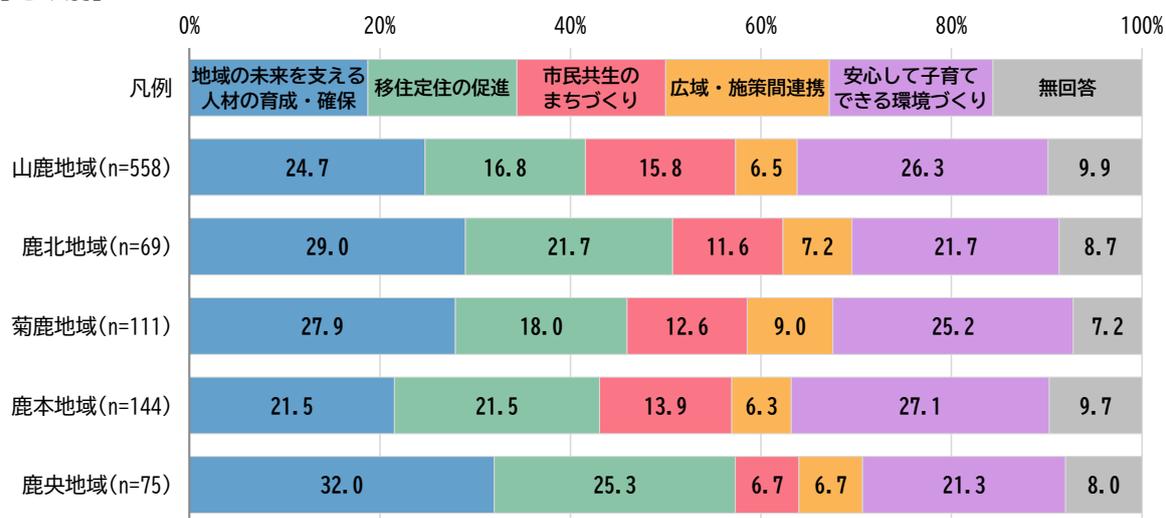
- 年代別では、40代までは「安心して子育てできる環境づくり」、60代では「移住定住の促進」、それ以外の年代では「地域の未来を支える人材の育成・確保」が最も高くなっている。

【年代別】



○地域別では、山鹿地域及び鹿本地域では「安心して子育てできる環境づくり」、それ以外の地域では「地域の未来を支える人材の育成・確保」が最も高くなっており、鹿央地域では3割を超えている。

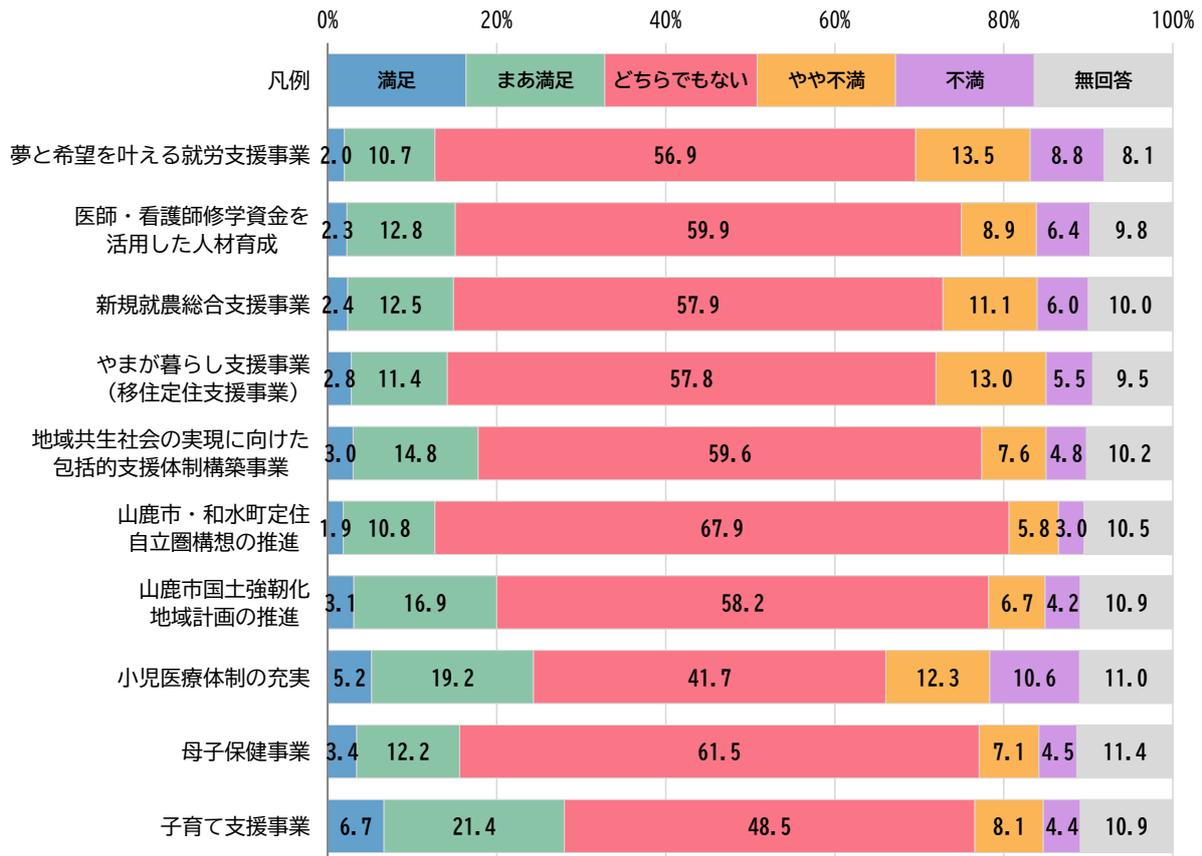
【地域別】



問11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の満足度と重要度について（単数回答）

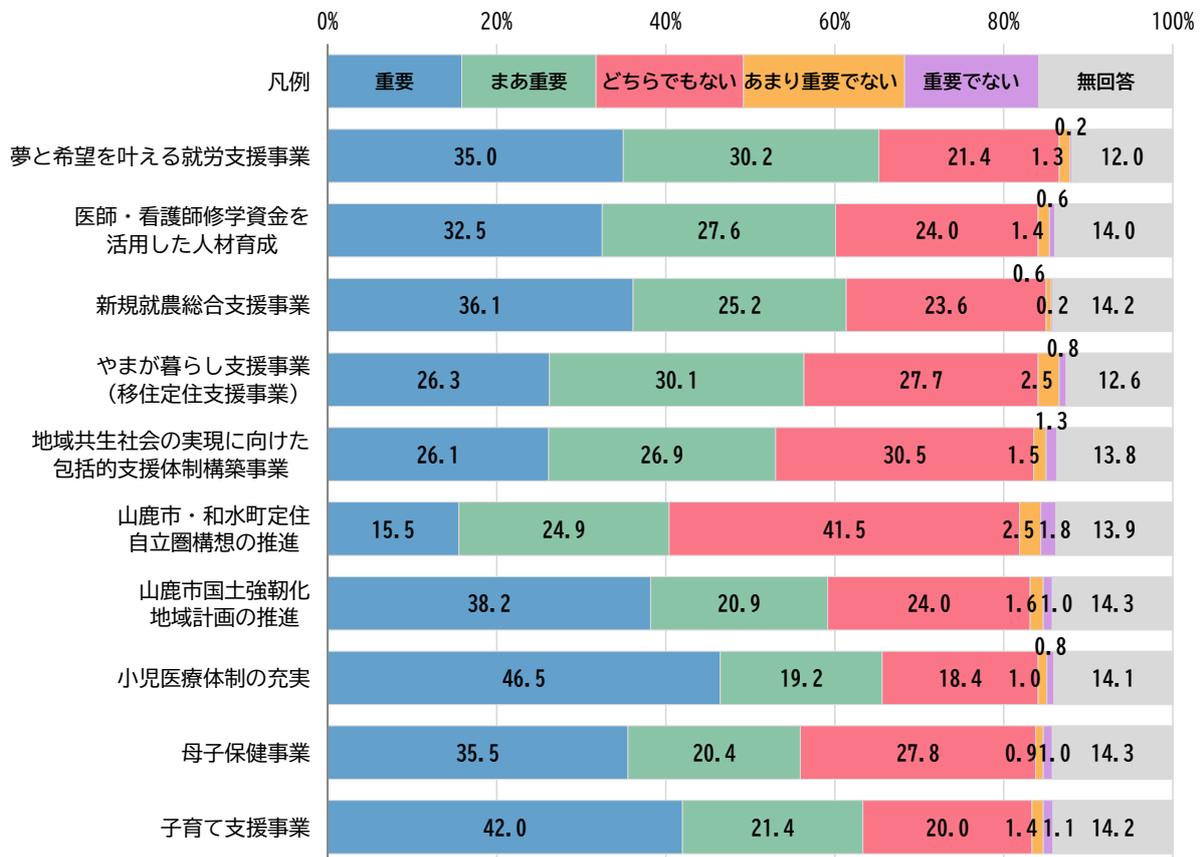
◆満足度

- 人口政策の満足度について、「満足」、「まあ満足」の割合が最も高い政策は「子育て支援事業」28.1%、次いで「小児医療体制の充実」24.4%、「山鹿市国土強靱化地域計画の推進」20.0%となっている。
- 「やや不満」、「不満」の割合が最も高い政策は「小児医療体制の充実」22.9%、次いで「夢と希望を叶える就労支援事業」22.3%、「やまが暮らし支援事業」18.5%となっている。



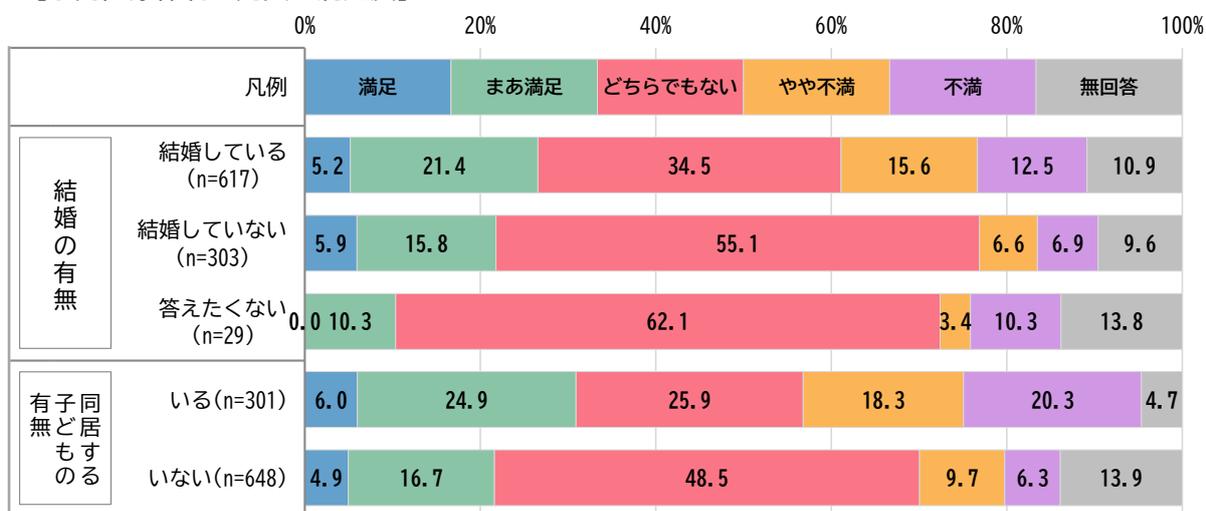
◆重要度

○人口政策の重要度について、どの政策も「重要」、「まあ重要」の割合が「あまり重要でない」、「重要でない」を大きく上回っており、特に「夢と希望を叶える就労支援事業」「医師・看護師修学資金を活用した人材育成」「新規就農総合支援事業」「小児医療体制の充実」「子育て支援事業」は6割を超えている。



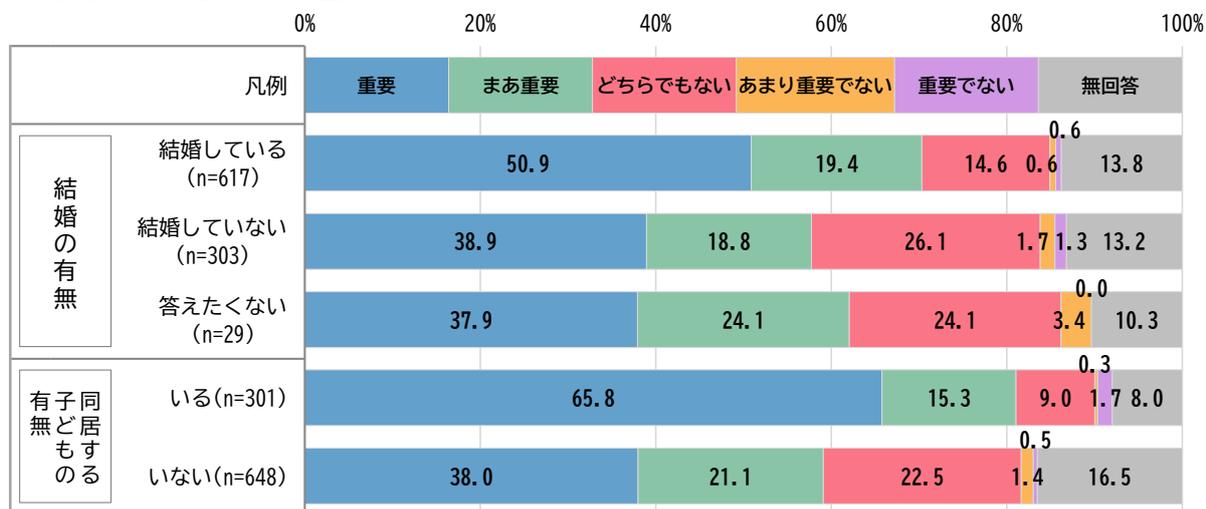
○小児医療体制の充実の満足度については、どの回答者も2割以上が「満足」、「まあ満足」と回答している。また、「結婚している」「子どもがいる」では「結婚していない」「子どもがいない」と比べて「やや不満」、「不満」の割合が10ポイント以上高くなっている。

【小児医療体制の充実×満足度】



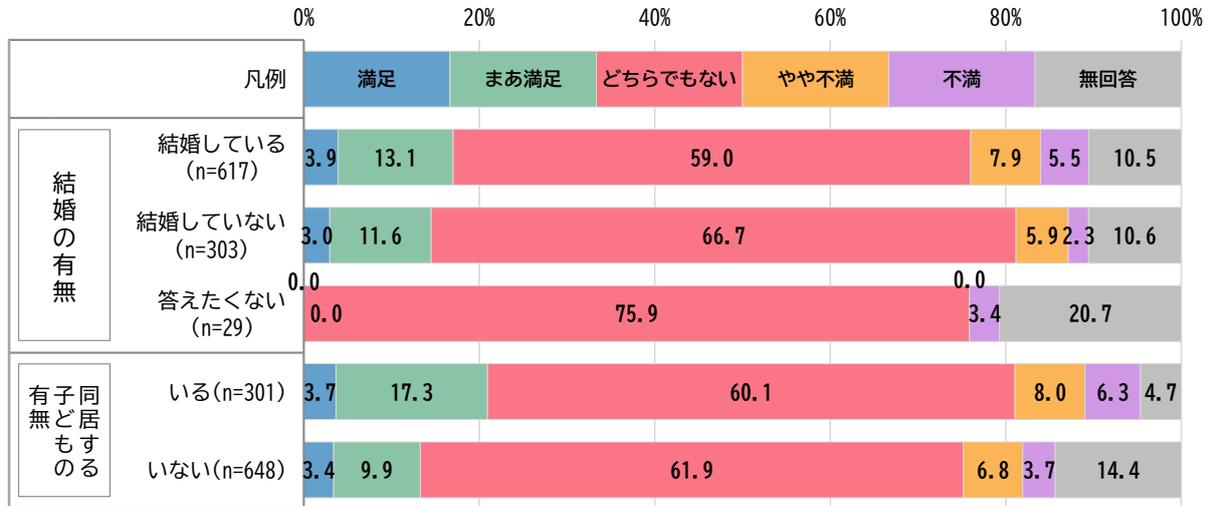
○小児医療体制の充実の重要度については、「重要」、「まあ重要」が「あまり重要でない」、「重要でない」を大きく上回っており、特に「子どもがいる」では8割を超えている。

【小児医療体制の充実×重要度】



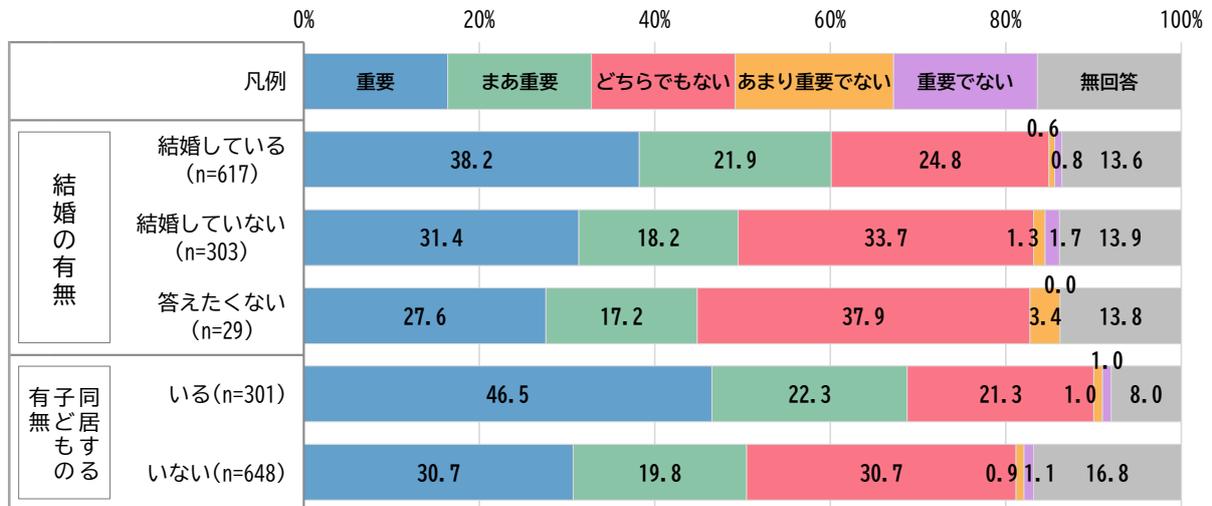
○母子保健事業の満足度については、「どちらでもない」が最も高くなっている。「子どもがいる」では「満足」、「まあ満足」が21.0%となっており、最も高くなっている。

【母子保健事業×満足度】



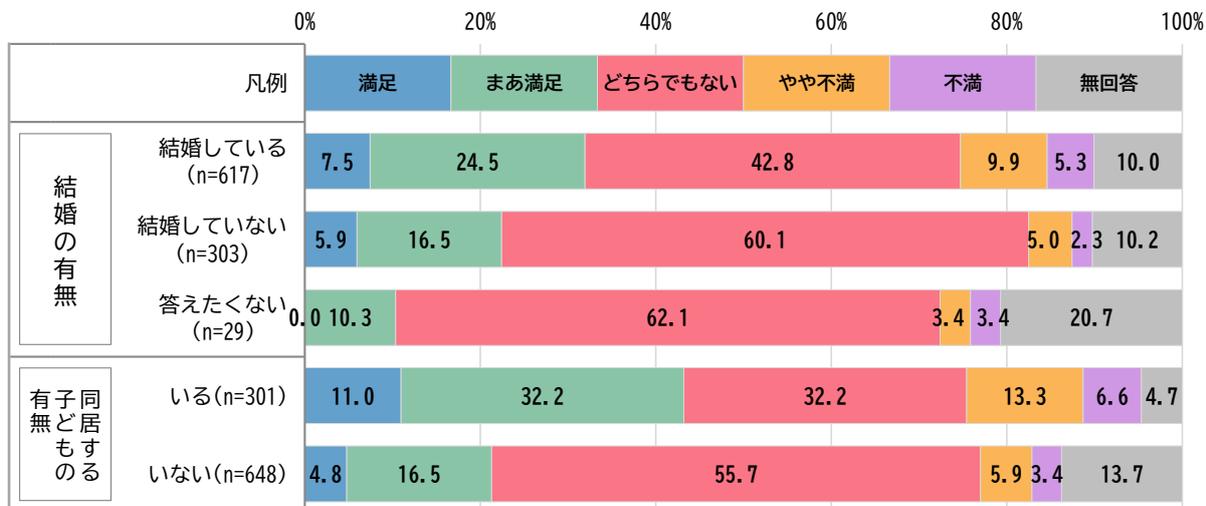
○母子保健事業の重要度については、「重要」、「まあ重要」が「あまり重要でない」、「重要でない」を上回っており、特に「結婚している」「子どもがいる」では6割を超えている。

【母子保健事業×重要度】



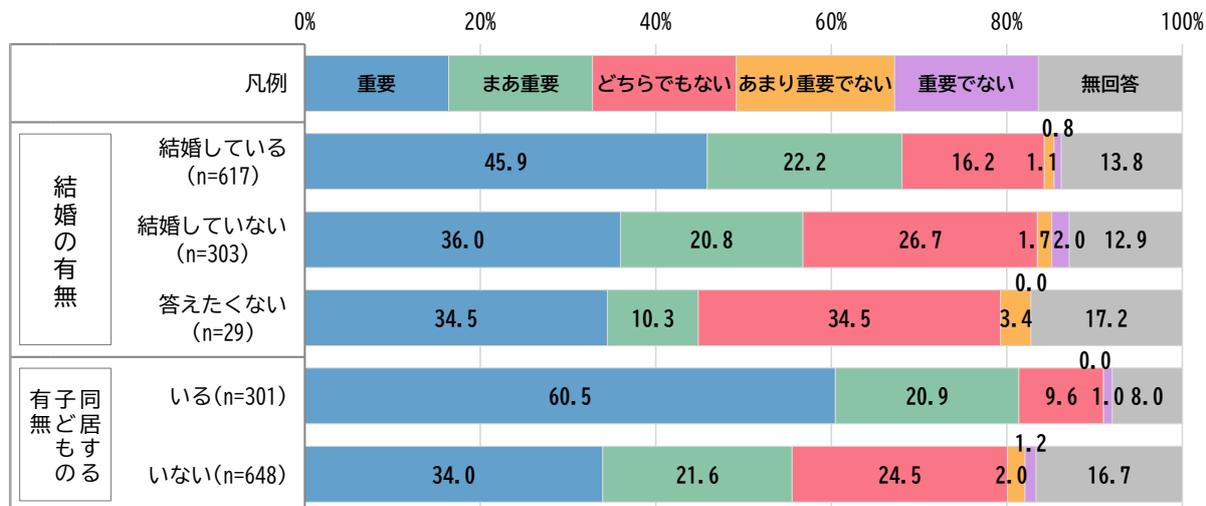
○子育て支援事業の満足度について、「子どもがいる」では「満足」、「まあ満足」が43.2%と最も高くなっているが、「やや不満」、「不満」についても19.9%と最も高くなっている。

【子育て支援事業×満足度】

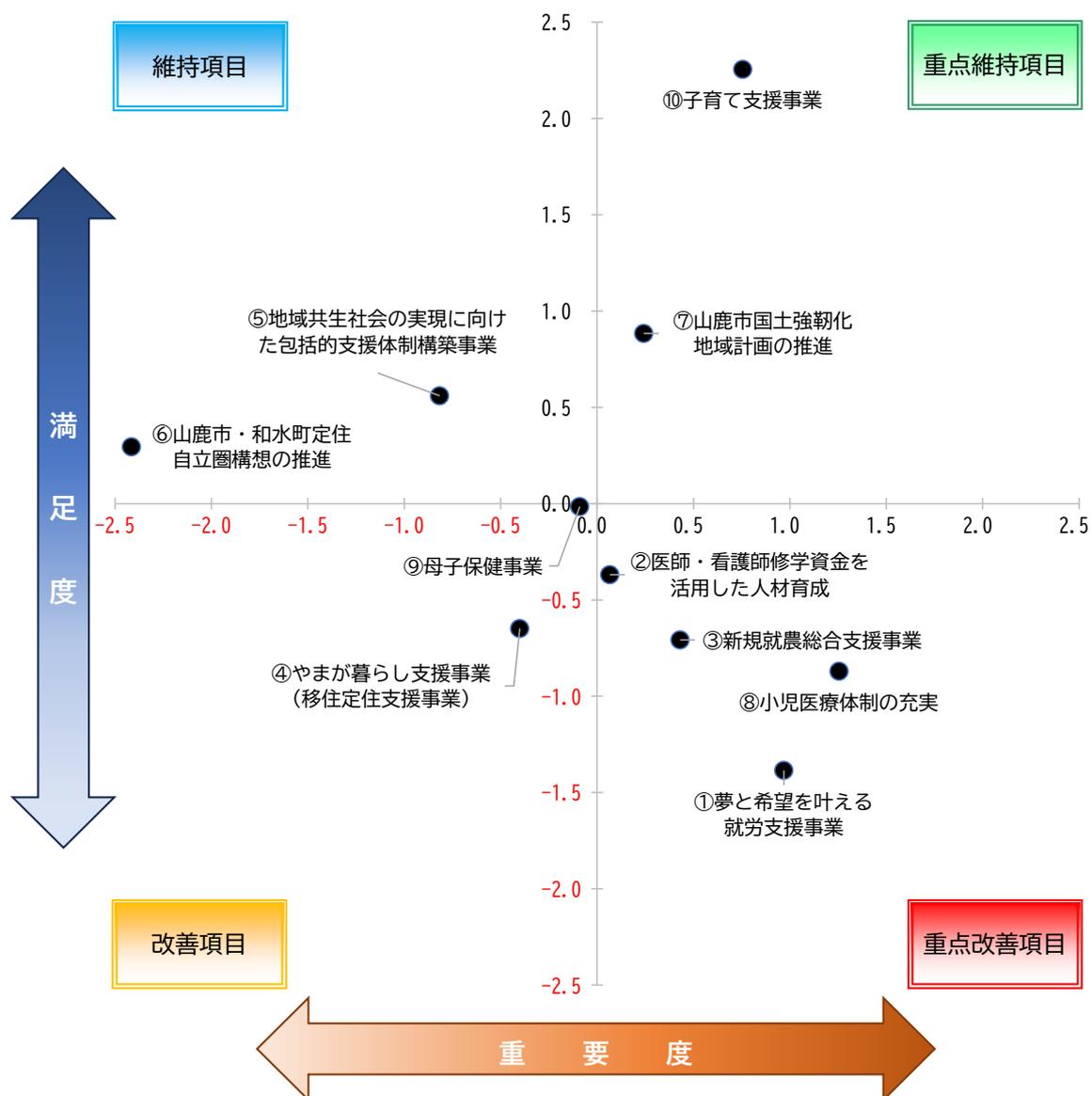


○子育て支援事業の重要度については、「重要」、「まあ重要」が「あまり重要でない」、「重要でない」を上回っており、特に「子どもがいる」では81.4%と8割を超えている。

【子育て支援事業×重要度】



【人口政策における満足度及び重要度の相関図】



	重要度	満足度	象限
⑥山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進	-2.414	0.295	維持項目
⑤地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業	-0.816	0.560	維持項目
④やまが暮らし支援事業（移住定住支援事業）	-0.401	-0.648	改善項目
⑨母子保健事業	-0.089	-0.015	改善項目
②医師・看護師修学資金を活用した人材育成	0.067	-0.368	重点改善項目
⑦山鹿市国土強靱化地域計画の推進	0.242	0.884	重点維持項目
③新規就農総合支援事業	0.431	-0.707	重点改善項目
⑩子育て支援事業	0.755	2.255	重点維持項目
①夢と希望を叶える就労支援事業	0.970	-1.385	重点改善項目
⑧小児医療体制の充実	1.256	-0.870	重点改善項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】 満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】 満足度と重要度ともに低い項目。

【重点維持項目】 重要度も満足度も高い項目。

【重点改善項目】 重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い項目。

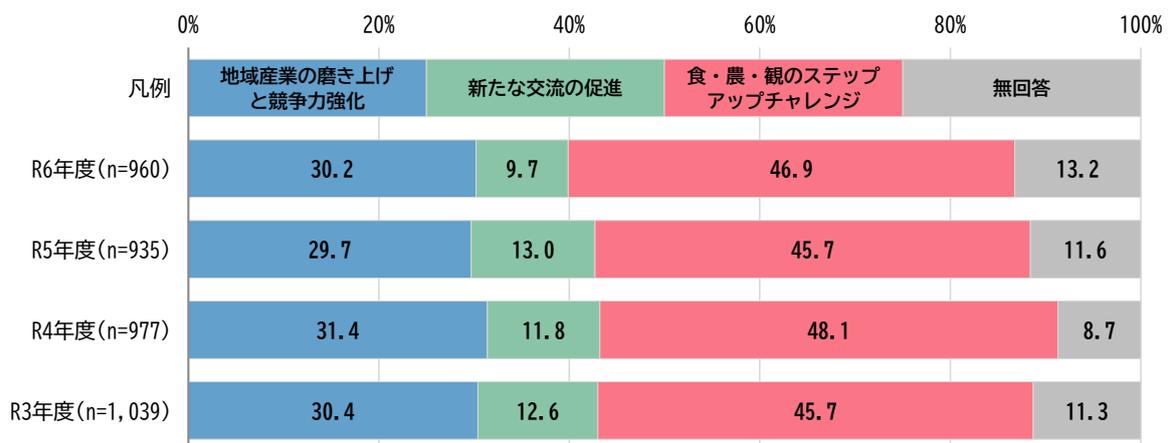
4. 経済政策について

問12 山鹿市総合戦略における、経済政策でもっとも充実してほしい取組について (単数回答)

○経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」が46.9%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」30.2%、「新たな交流の促進」9.7%となっている。

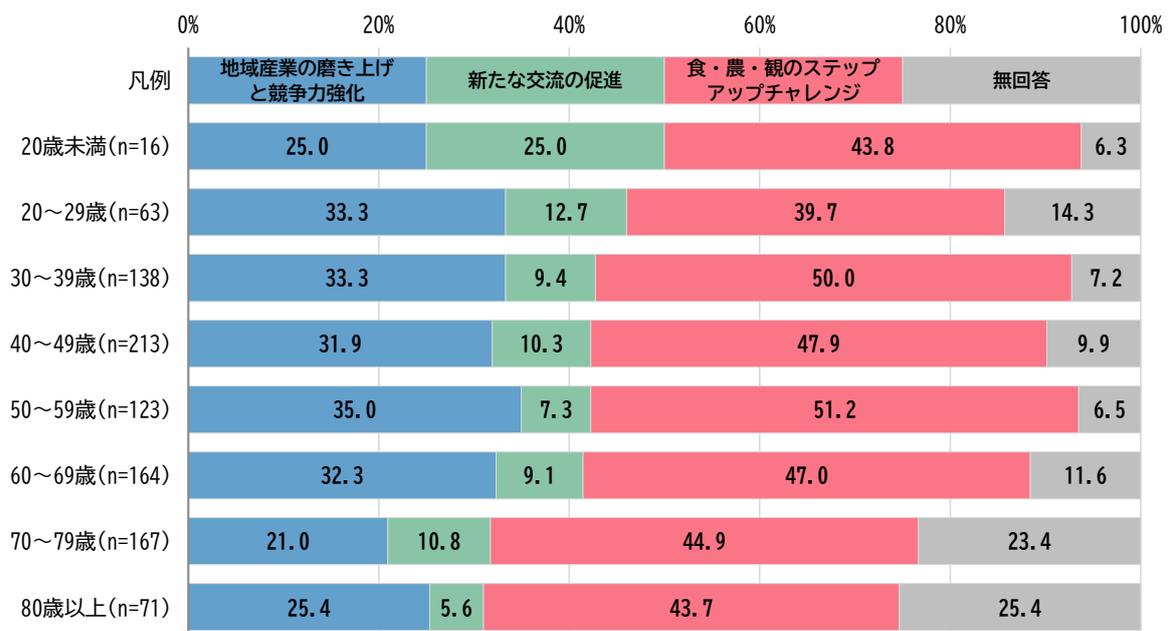
○各年度においても同じ傾向が見られる。

【全体】



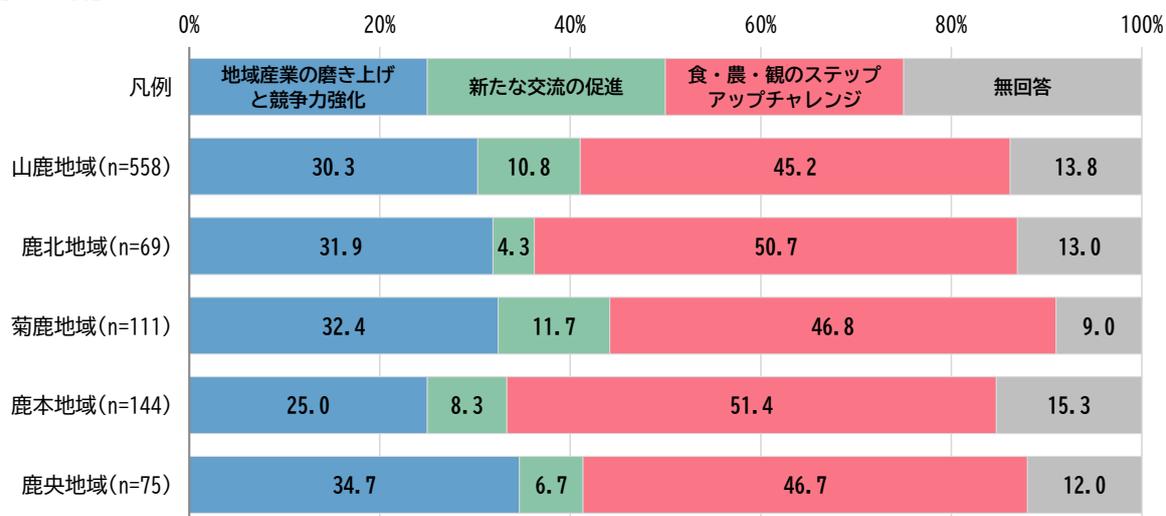
○年代別では、どの年代も「食・農・観のステップアップチャレンジ」が最も高くなっており、30代及び50代では5割を超えている。

【年代別】



○地域別では、どの地域も「食・農・観のステップアップチャレンジ」が最も高くなっており、鹿北地域及び鹿本地域では5割を超えている。

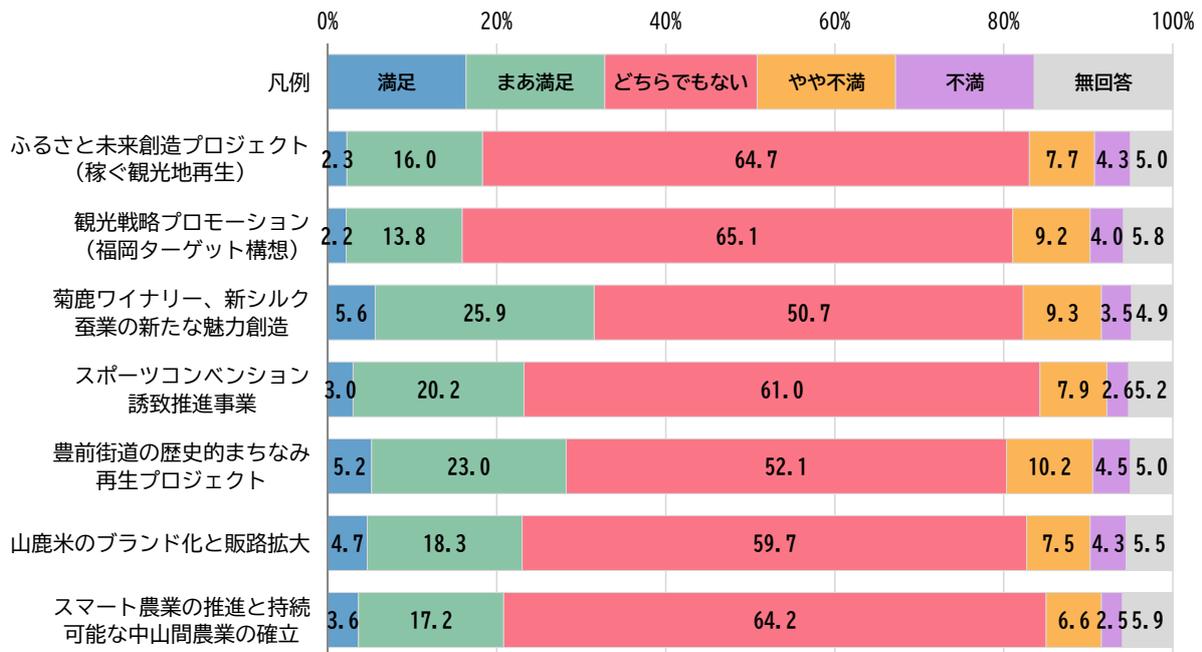
【地域別】



問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の満足度と重要度について（単数回答）

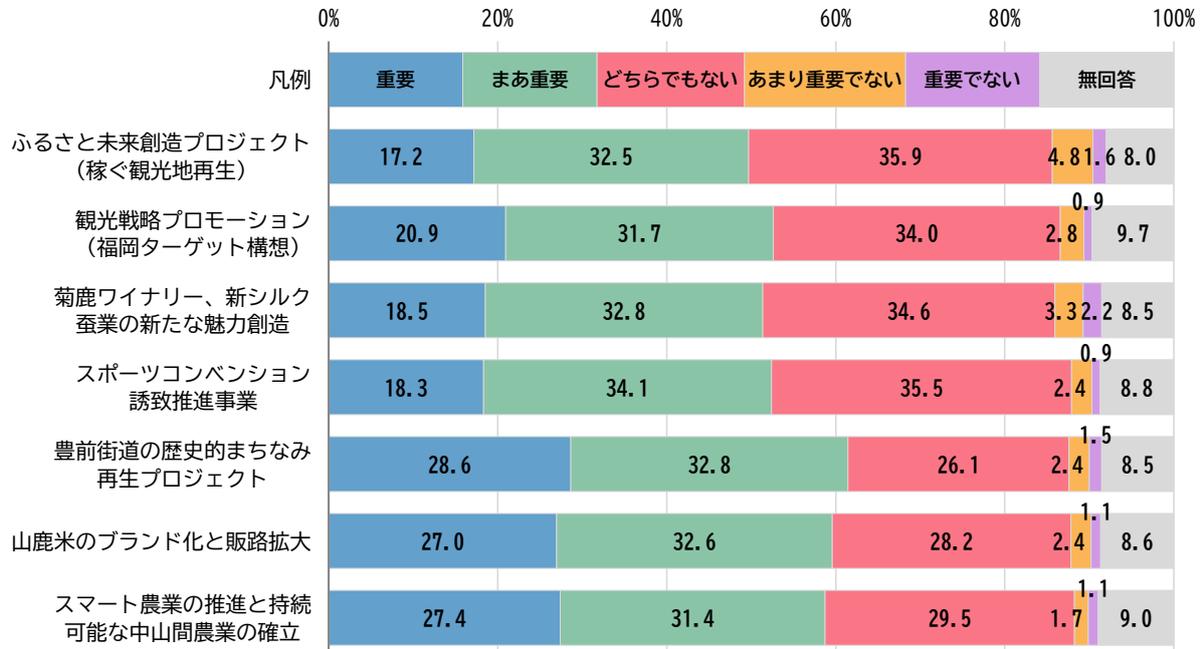
◆満足度

○経済政策の満足度について、「満足」、「まあ満足」の割合が最も高い政策は「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」31.5%、次いで「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」28.2%、「スポーツコンベンション誘致推進事業」23.2%となっている。また、「やや不満」、「不満」はどの政策も2割以下となっている。

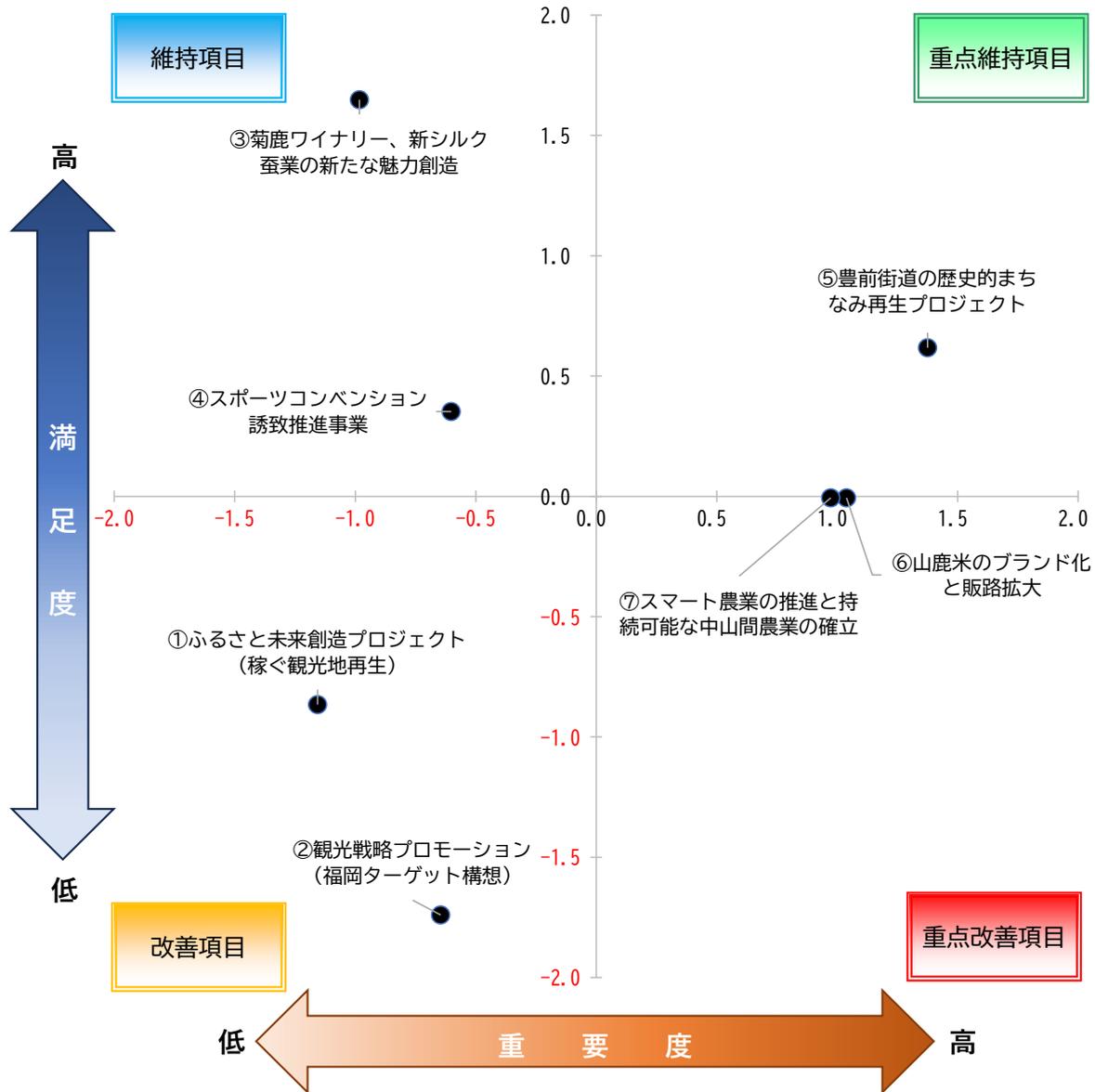


◆重要度

○経済政策の重要度については、どの政策も「重要」、「まあ重要」が「あまり重要でない」、「重要でない」を上回っており、その中でも最も高い政策は「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」61.4%、次いで「山鹿米のブランド化と販路拡大」59.6%、「スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立」58.8%となっている。



【経済政策における満足度及び重要度の相関図】



	重要度	満足度	象限
①ふるさと未来創造プロジェクト (稼ぐ観光地再生)	-1.156	-0.866	改善項目
③菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造	-0.983	1.648	維持項目
②観光戦略プロモーション (福岡ターゲット構想)	-0.646	-1.740	改善項目
④スポーツコンベンション誘致推進事業	-0.602	0.352	維持項目
⑦スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立	0.973	-0.007	重点改善項目
⑥山鹿米のブランド化と販路拡大	1.038	-0.007	重点改善項目
⑤豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト	1.375	0.618	重点維持項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】満足度と重要度ともに低い項目。

【重点維持項目】重要度も満足度も高い項目。

【重点改善項目】重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い項目。

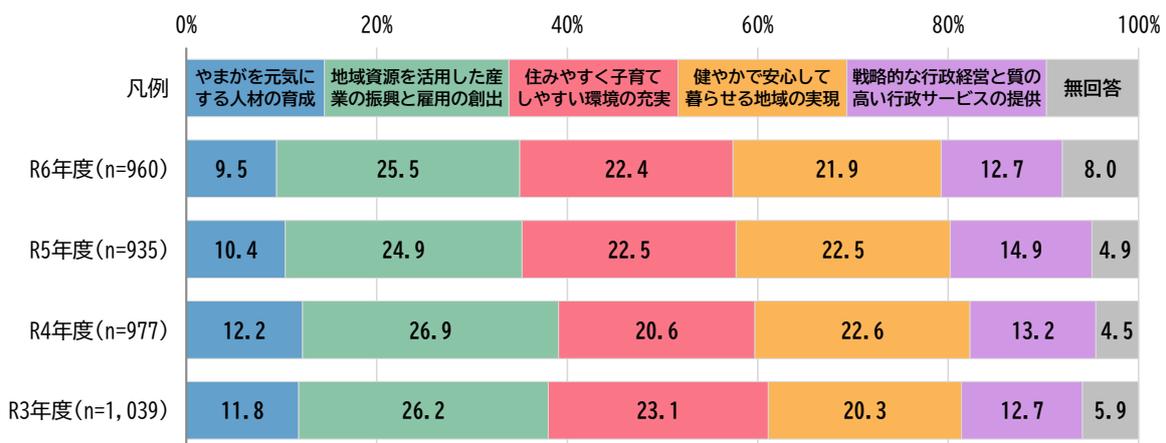
5. 山鹿市総合計画について

問14 山鹿市総合計画の将来都市像である「人輝き飛躍する都市(まち)やまが」の実現のために、もっとも重要と思うものについて（単数回答）

○将来の都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」が25.5%と最も高く、次いで「住みやすく子育てしやすい環境の充実」22.4%、「健やかで安心して暮らせる地域の実現」21.9%となっている。

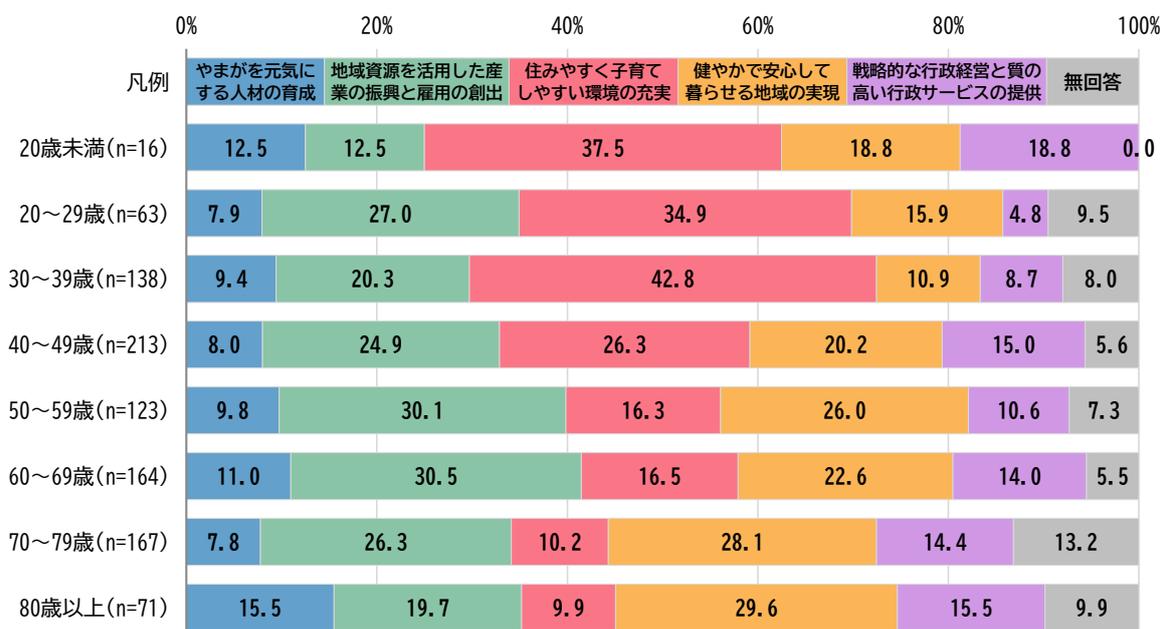
○各年度においても同じ傾向が見られる。

【全体】



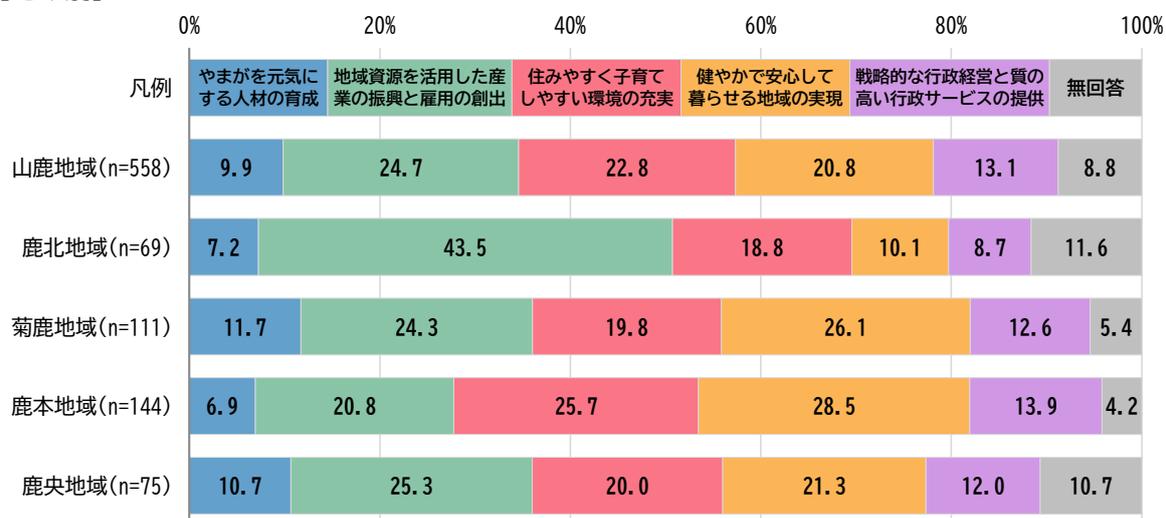
○年代別では、40代までは「住みやすく子育てしやすい環境の充実」、50～60代では「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」、70代以降では「健やかで安心して暮らせる地域の実現」が最も高くなっている。

【年代別】



○地域別では、菊鹿地域及び鹿本地域では「健やかで安心して暮らせる地域の実現」、それ以外の地域では「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」が最も高くなっており、特に鹿北地域では4割を超えている。

【地域別】



問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の満足度と重要度について (単数回答)

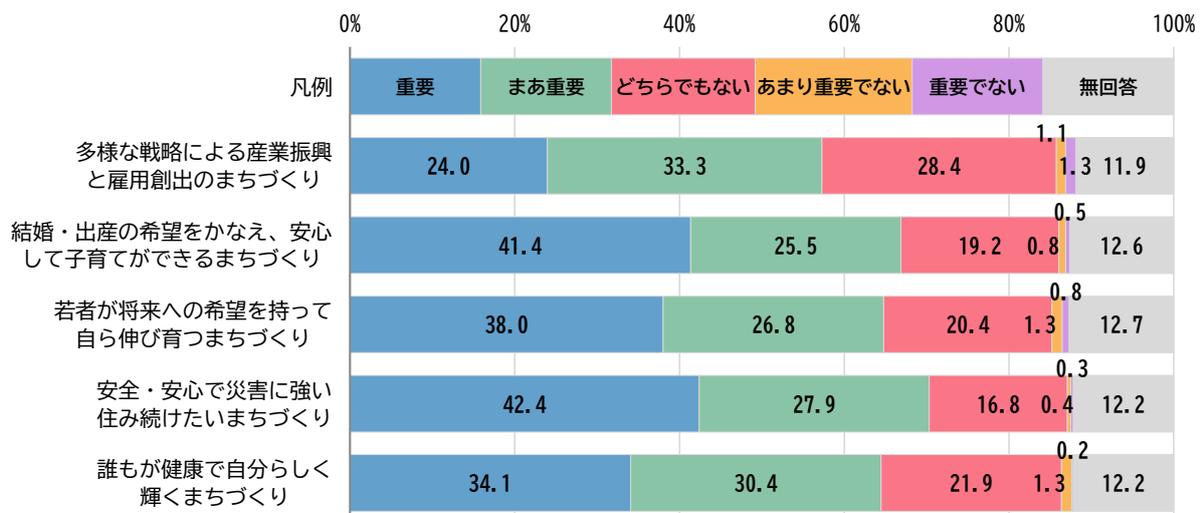
◆満足度

○総合計画の先導施策の満足度について、「満足」、「まあ満足」の割合が最も高い施策は「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」33.2%、次いで「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」24.8%、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」22.3%となっている。



◆重要度

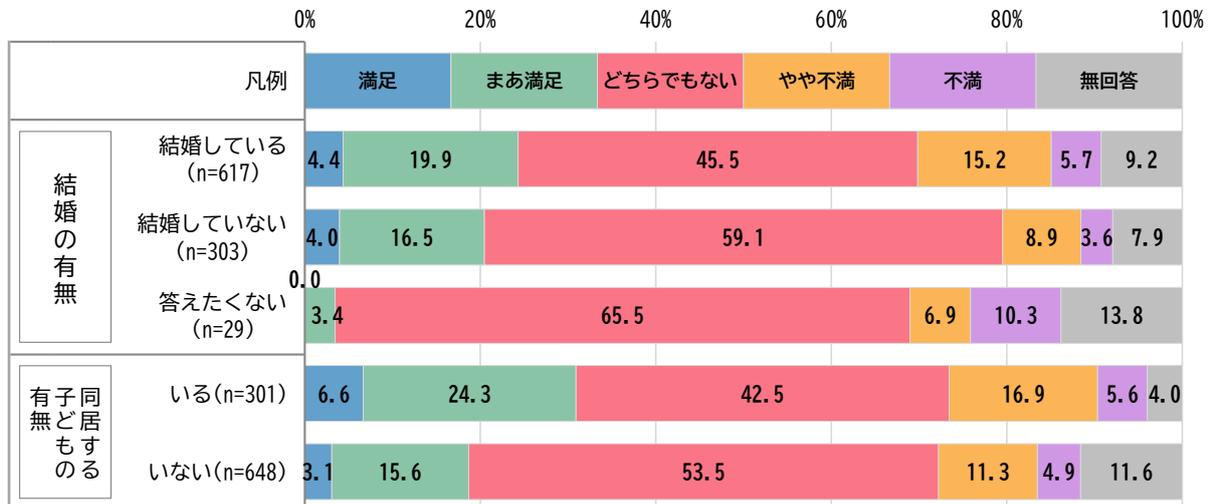
○重要度については、どの施策も「重要」、「まあ重要」が5割を超えており、その中で最も高い施策は「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」70.3%、次いで「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」66.9%、「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」64.8%となっている。



◆満足度

- 「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」の満足度については、どの回答者も「どちらでもない」が最も高くなっている。また、「子どもがいる」では「満足」、「まあ満足」が30.9%と3割を超えている。

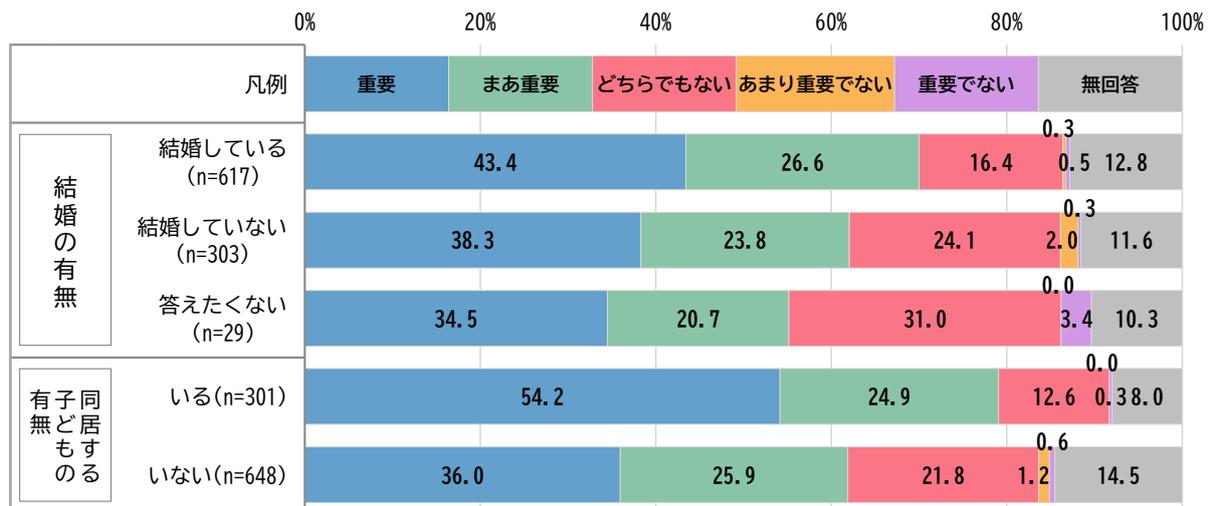
【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×満足度】



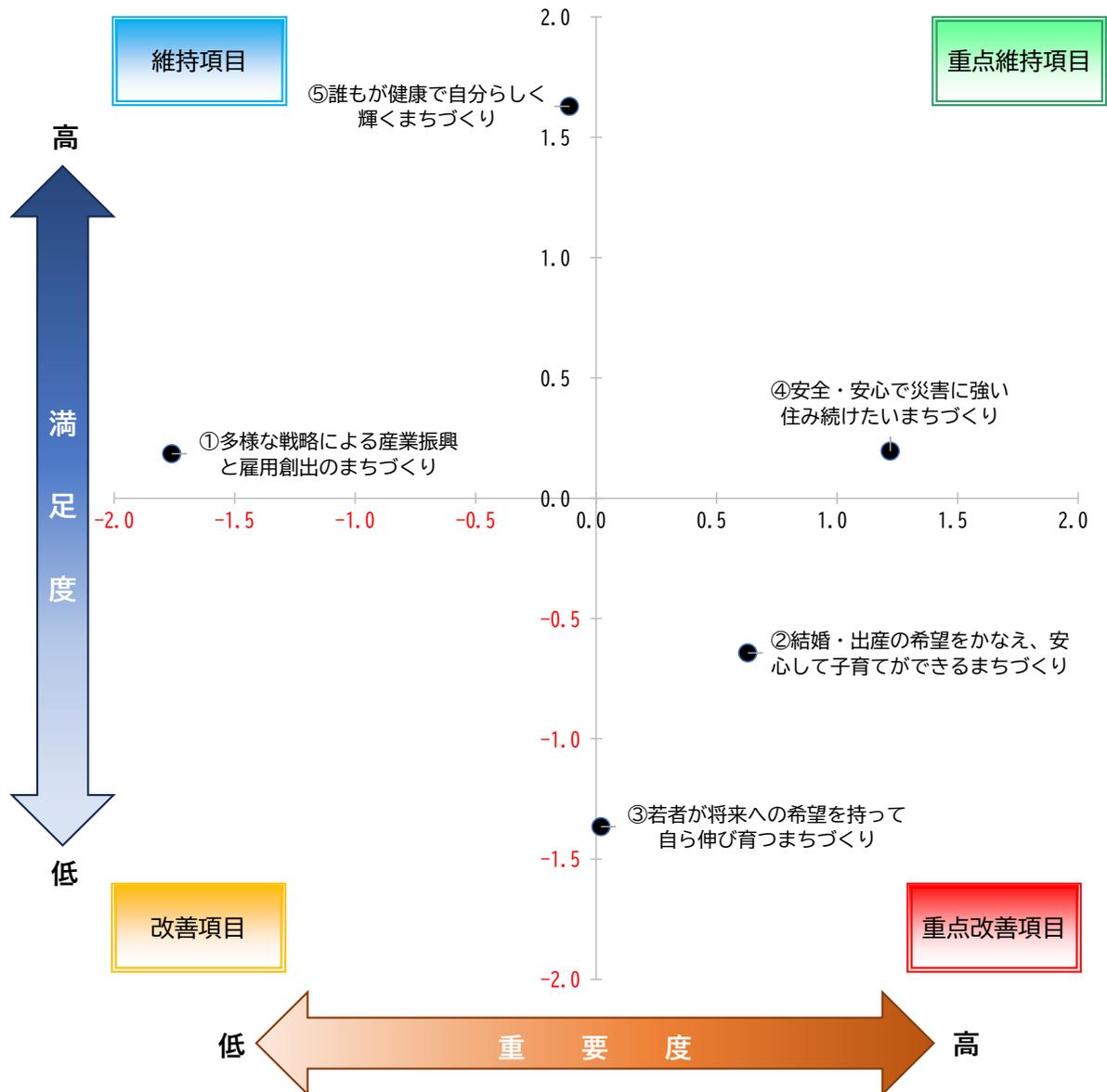
◆重要度

- 「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」の重要度については、どの回答者も「重要」、「まあ重要」が「あまり重要でない」、「重要でない」を上回っており、特に「結婚している」「子どもがいる」では7割を超えている。

【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×重要度】



【山鹿市総合計画（先導施策）における満足度及び重要度の相関図】



	重要度	満足度	象限
①多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり	-1.761	0.185	維持項目
⑤誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり	-0.111	1.628	維持項目
③若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり	0.021	-1.365	重点改善項目
②結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり	0.630	-0.643	重点改善項目
④安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり	1.221	0.195	重点維持項目

※数値は各項目の重要度、満足度それぞれの平均値を平均0、分散1となるように正規化

【維持項目】満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。

【改善項目】満足度と重要度ともに低い項目。

【重点維持項目】重要度も満足度も高い項目。

【重点改善項目】重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い項目。

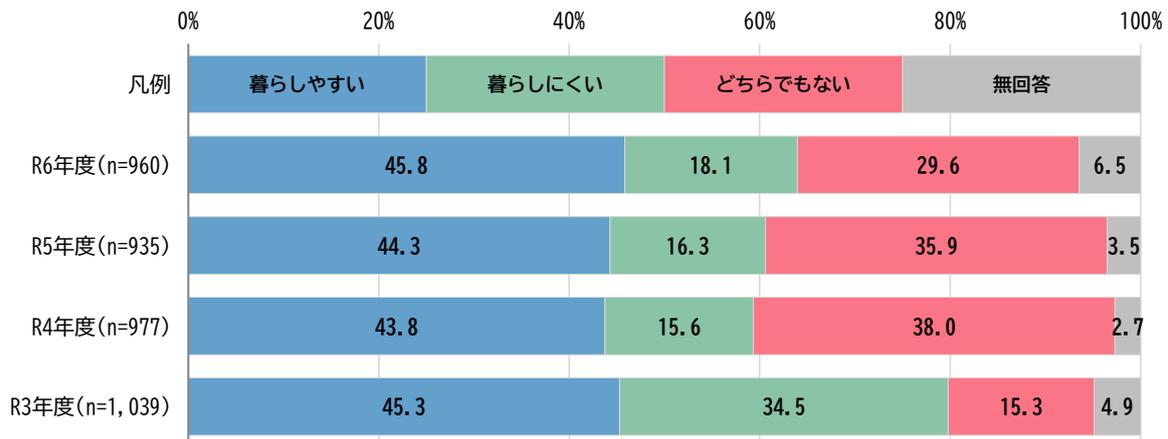
6. 山鹿市に対する考えについて

問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか（単数回答）

○山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が45.8%と最も高く、次いで「どちらでもない」29.6%、「暮らしにくい」18.1%となっている。

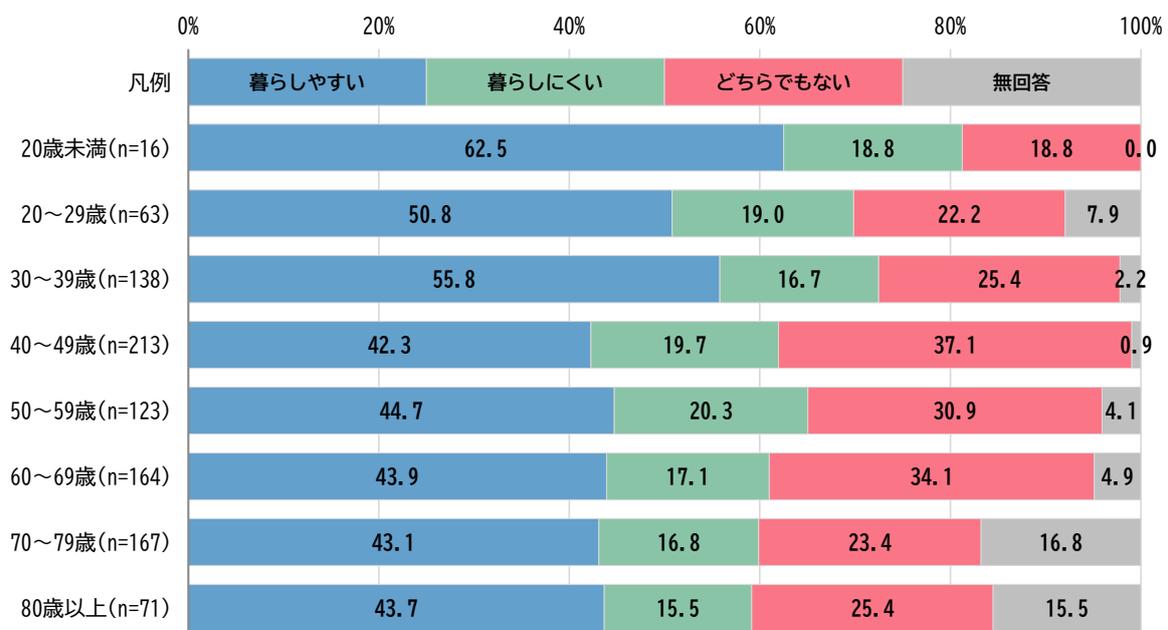
○各年度と比較すると「無回答」の割合が増加している。

【全体】



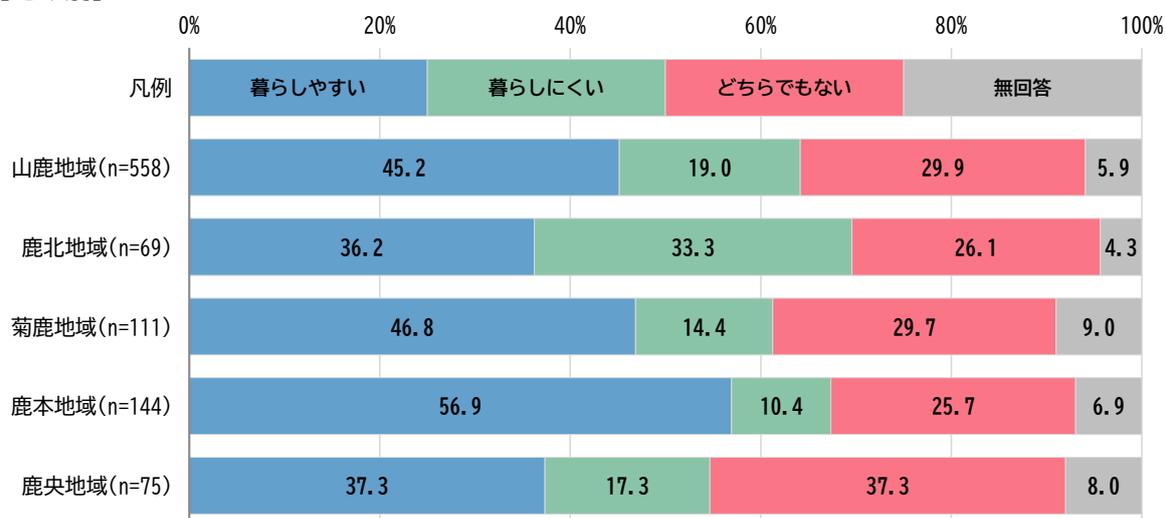
○年代別では、どの年代も「暮らしやすい」が最も高くなっており、特に30代までは5割を超えている。

【年代別】



○地域別では、鹿央地域は「暮らしやすい」と「どちらでもない」が同率となっているが、それ以外の地域では「暮らしやすい」が最も高くなっている。また、鹿北地域では「暮らしにくい」が33.3%と3割を超えており、他の地域と比べて10ポイント以上高くなっている。

【地域別】



問17 山鹿市が暮らしにくい理由（自由記述）

○暮らしにくい理由については、意見を分類し、項目ごとにまとめました。

※項目、意見の横（ ）内は件数

交通アクセス (95)
交通の便が悪い。(38)
車がなければ生活できない。(25)
バス停が近くにない。(5)
道路が整備されていない。(4)
電車がない。(3)
街灯がない。(3)
どこに行くにも遠い。(3)
高速道路への道が遠い。(2)
お年寄りによる危ない車の運転が多すぎる。(2)
自動車がないと仕事にいけない。
坂道も多く自転車の利用も大変。
高速道路・電車までが遠い。
通勤が遠い。
国道3号が渋滞している。
公共交通バスが車いす低床型に100%になっていない。
交通インフラ整備の遅れで熊本市内までの時間がかかりすぎる。
高齢者に対して、タクシー券の配布などしてほしい。
熊本市内へ出る時バス代が高い。
道路の白線が全く消えて境が分からない所が国道3号で多々ある。

行政への意見 (21)
税金が高いと感じる。(10)
水道代が高いと感じる。(2)
役所の人への対応が遅く間違いもあった。
地元に残り子育てをする若い世代に手厚い支援があれば若い人も残りやすくなる。
国民健康保険税が高い。
熊本市内のように水道代を2ヶ月に1回の徴収にしてほしい。
子供がいない世帯、一人暮らし世帯が軽んじられている気がする。
企業（法人税等）の税負担が不十分。
市の方向性が見えない。
行政は機能しておらず、結局都市部へ若者は流れている。
若者が集まるような街づくり。

医療・福祉 (28)
病院が少なく地域格差がある。(8)
小児科がない。(4)
病院の質が悪い。(4)
大きな病気に対応してくれる病院がない。(4)
介護施設を増やしてほしい。(2)
子育て支援が充実してほしい。(2)
年末年始に病院が開いていない。
必要な時に、必要な医療が受けられるか不安。
夜間時に緊急対応してくれる病院が少ない。
病院の待ち時間が長い。

企業や商業施設の誘致 (59)
スーパーが少なく買い物に不便。(20)
大規模商業施設がない。(6)
子どもの遊ぶ場所が少ない。(4)
生活に不便。(3)
パチンコ店が多い。(2)
家賃が高い。(2)
娯楽がない。(2)
温泉プラザ等が閑散としており衰退しているようにしか見えない。
衣食住の買い物が山鹿内で済ませられない。
町内にスーパー等の建物が無い。
菊鹿地域からは何でも遠い。
ゆめタウンかイオンモールかコストコを誘致してほしい。
郵便ポストが少ない。
年齢を重ねた後の暮らしやすさが見えない。
山鹿全体に活気がなくさびしい。
デリバリー等のお店のサービスが不足している。
ペットボトルの回収場所がごみ置き場と別場所というのが考えられない。
町内会や資源ごみの当番など子育て世帯には負担が大きい。
住宅など住む場所が少ない。
空き家も増えてきていて防犯面が不安。
スポーツが出来る場所が欲しい。
規模拡大に伴って増えた乳牛の鳴き声、フン臭、機械音に日々たえている。
観光スポット、デパートがない。
住居が住みにくい。
田舎の割に生産物(野菜等)は高いと思う。
ごみの分別が多い。
銀行が移転になり少々不安。

地域 (21)
地域での係や作業が負担。(6)
近所の人との人間関係が薄い。(3)
古い習慣や決まりがある。(2)
消防団の活動が負担。(2)
排他的な人が多い。(2)
将来に不安を感じる。(2)
地区の行事が多い。
定住者への支援がない。
シニア世帯や子どものいない世帯が軽視されていると感じる。
男性優位の風潮が強い。

雇用環境 (16)
働く場所がない。(9)
企業誘致をしてほしい。(4)
若者の働く場所がない。(3)

経済面 (6)
暮らしにかかる費用が高い。(3)
高収入が見込めないため若い人達に勧められない。
田舎の割に生産物(野菜等)は高いと思う。
商業施設で接客対応が悪かった。

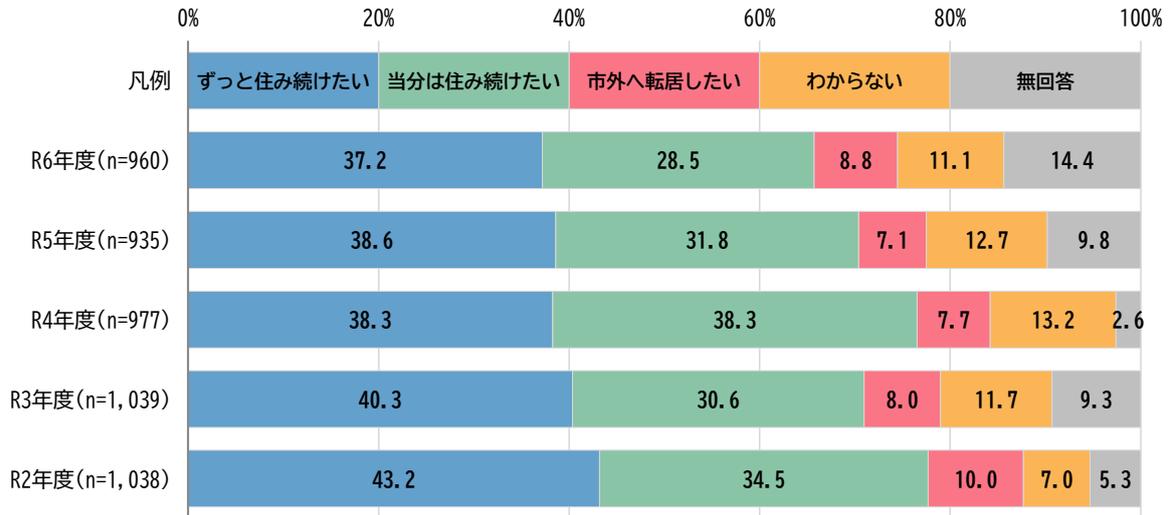
その他 (8)
夏場に害虫が多い、歩いていると路上に10匹以上は見る。
高校の科目の選択が少なすぎる。
学校の教育も古い考えが多く子ども達も不満が多い。
他市町村で暮らしたことがないので比較できない。
子どもは山鹿小学校と山鹿中学校に集中しており、細やかな指導がなされない。
住みやすい理由として(3);他の市に比べ若者が住みやすい。住めば都。若い人たちの簡素な結婚観が良いと感じる。

問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか（単数回答）

○山鹿市での今後の定住意向については「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」が65.7%となっており、約7割は定住を希望していると回答している。

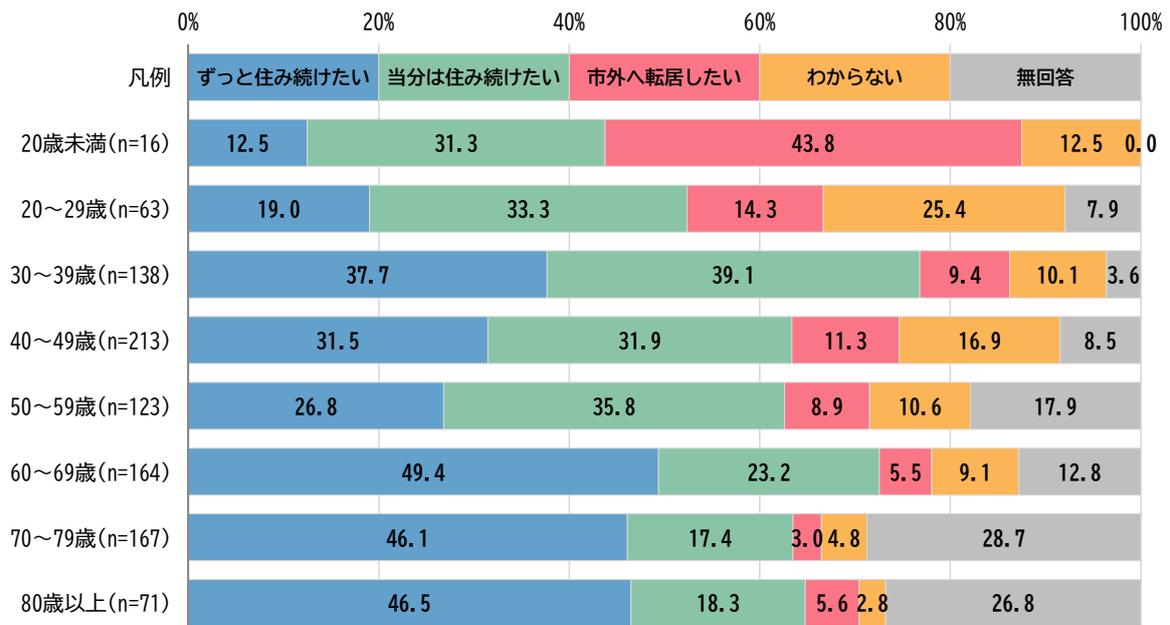
○各年度において「市外へ転居したい」割合は1割以下となっている。

【全体】



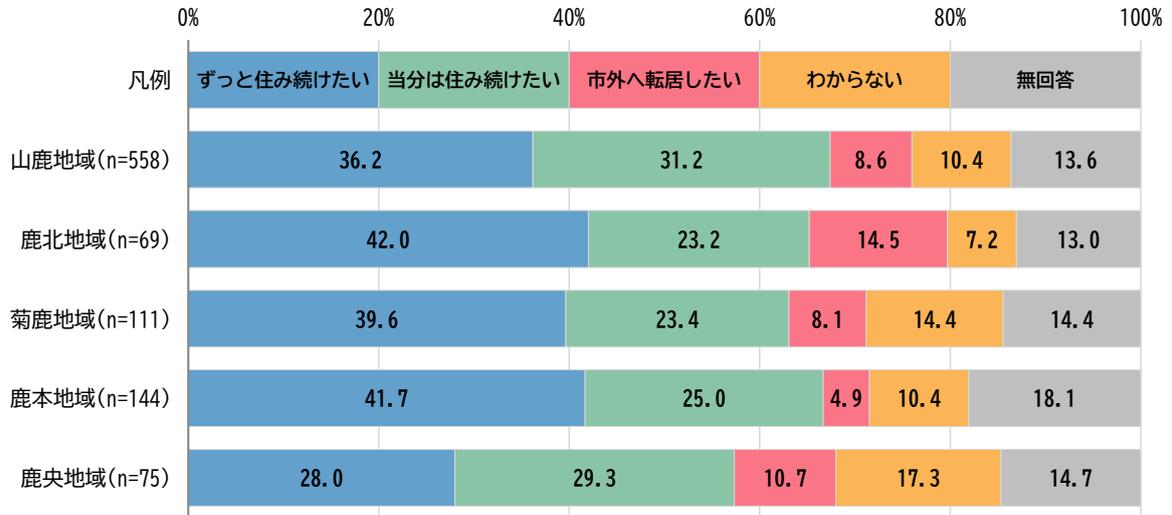
○年代別では、20歳未満では「市外へ転居したい」が最も高く、20代以降では「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」が半数以上を占めており、特に30代及び60代では7割を超えている。

【年代別】



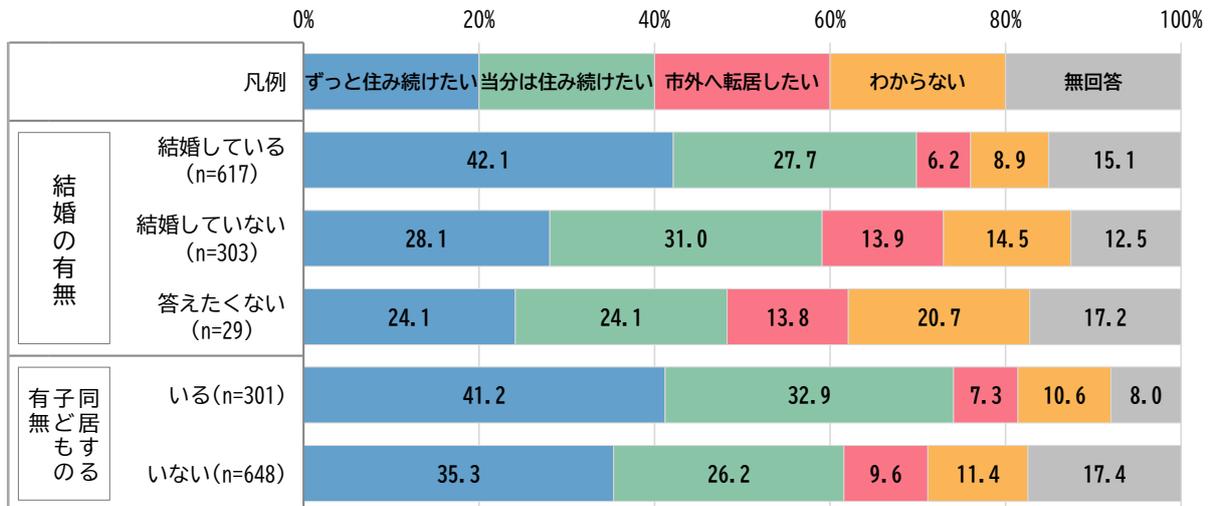
○地域別では、鹿央地域では5割、それ以外の地域では6割以上が「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答している。

【地域別】



○結婚・子どもの有無別でみると、「結婚している」「子どもがいる」では約7割が「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答している。

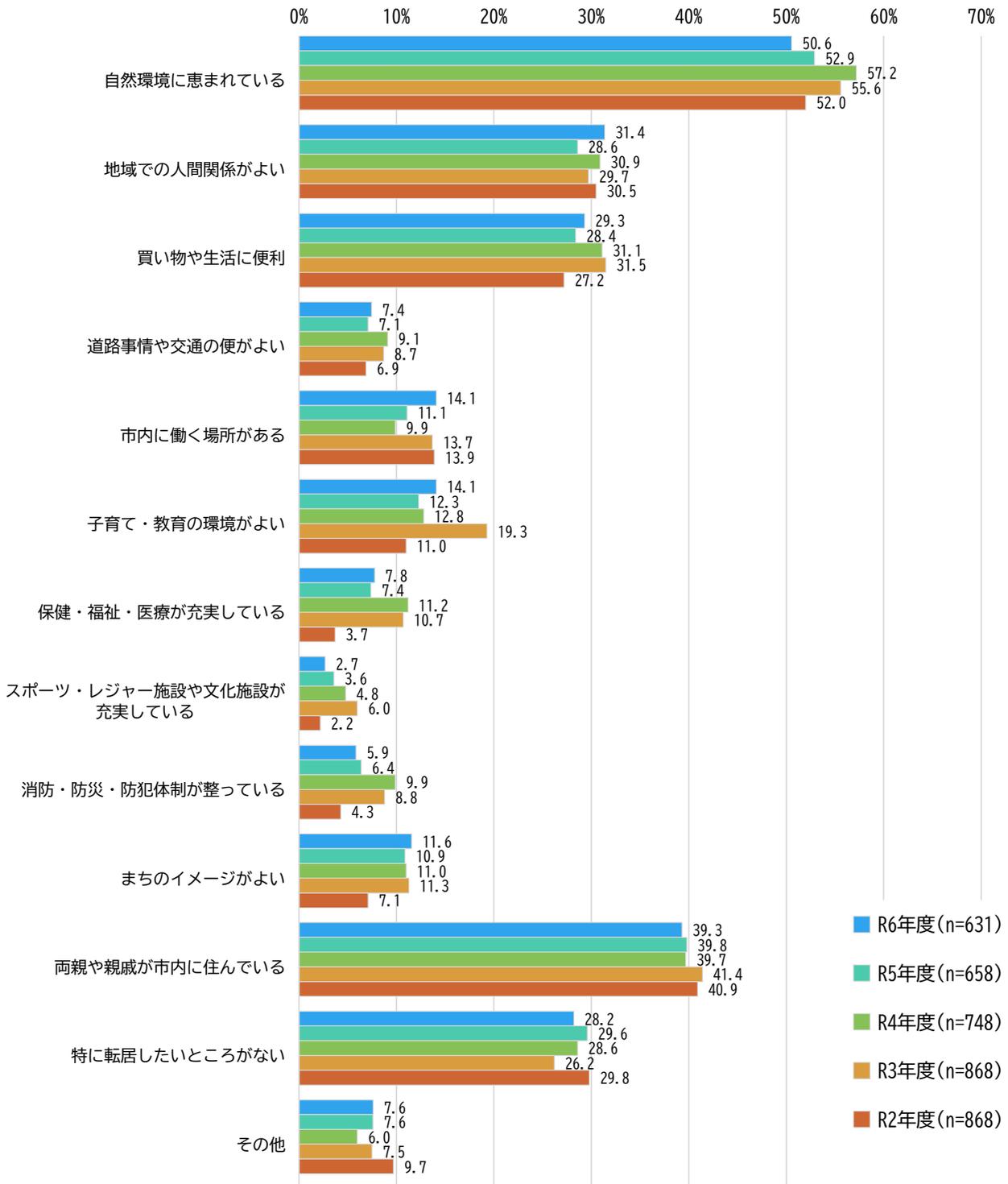
【結婚の有無・子どもの有無別】



問18 住み続けたい理由（複数回答）

- 山鹿市に住み続けたい理由については、「自然環境に恵まれている」が50.6%と最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」39.3%、「地域での人間関係がよい」31.4%となっている。
- その他の意見として、「土地、家があるから」「持ち家があるから」「先祖からの土地であるため」「生まれ育ったところ」「温泉がある」等、持ち家、生まれ育った場所への愛着等の声が挙げられているが、高齢化による転居の難しさを訴える意見もみられた。

【全体】



問18 市外へ転居したい理由（自由記述）

○市外へ転居したい理由については、意見を分類し、項目ごとにまとめました。

※項目、意見の横（ ）内は件数

医療・福祉（8）
医療の質が悪い。（3）
小児医療が不足している。（2）
（高齢者への対応に適することを含む）専門病院が少ない。（2）
子育てにとっても良い政策があれば永住者は増えると思う。

活気・楽しみの不足（3）
若者の負荷が上がるのが容易に想定されるため勢いのある市に転居する。
田舎暮らしに向いている。若者向けに何でも変えてほしい。せっかく歴史があるので観光に力を入れてほしい。
福岡市がとても興味があり活気があるので、熊本市よりも福岡に住むには良いと思う。すばらしい都市だと思う。

生活環境（20）
商店などが少なく不便。（9）
より良い町へ転居したい。（4）
遊ぶ所が少ない。（2）
出会いがない。
結婚で県外へ転居する。
アクセスの良い場所や様々な施設が充足している所の方が住みやすい。
若者には暮らしにくい。
悪臭に悩まされているため、牧場から離れた場所に移住したい。

交通・買い物・医療等の不便（15）
公共交通機関が少ない。（7）
車がないと不便。（5）
移動しにくい。
熊本市内はバス、電車移動で病院や買物に行ける。
バス停が近くにない。

地域（4）
消防団を辞めたい。
地域つきあいが密すぎる。
町内行事など多すぎる。
友人がいない。

進学や雇用環境 (12)

働ける会社が少ない。(3)

賃金が安い。(2)

子ども達の進路の選択肢を広げたい。(2)

自分の就きたい職がない。

学校の教育が古すぎる。

高齢でも仕事ができる場所が少ない。

進学のため通うのが大変。

市外のほうがたくさん仕事を選べる。

行政の対応 (6)

税金が高いと感じる。(4)

市民(人)が喜ぶ顔を思い描いた行政を行っている人がどれだけいるのか。関われば関わる程虚しさを感じる。強く引っ張るリーダーが必要。

移住者と定住者への支援に格差を感じる。

その他 (4)

畑、山、家の管理が大変。集落の行事が多い。

日本は今アジアで貧困国になっている。

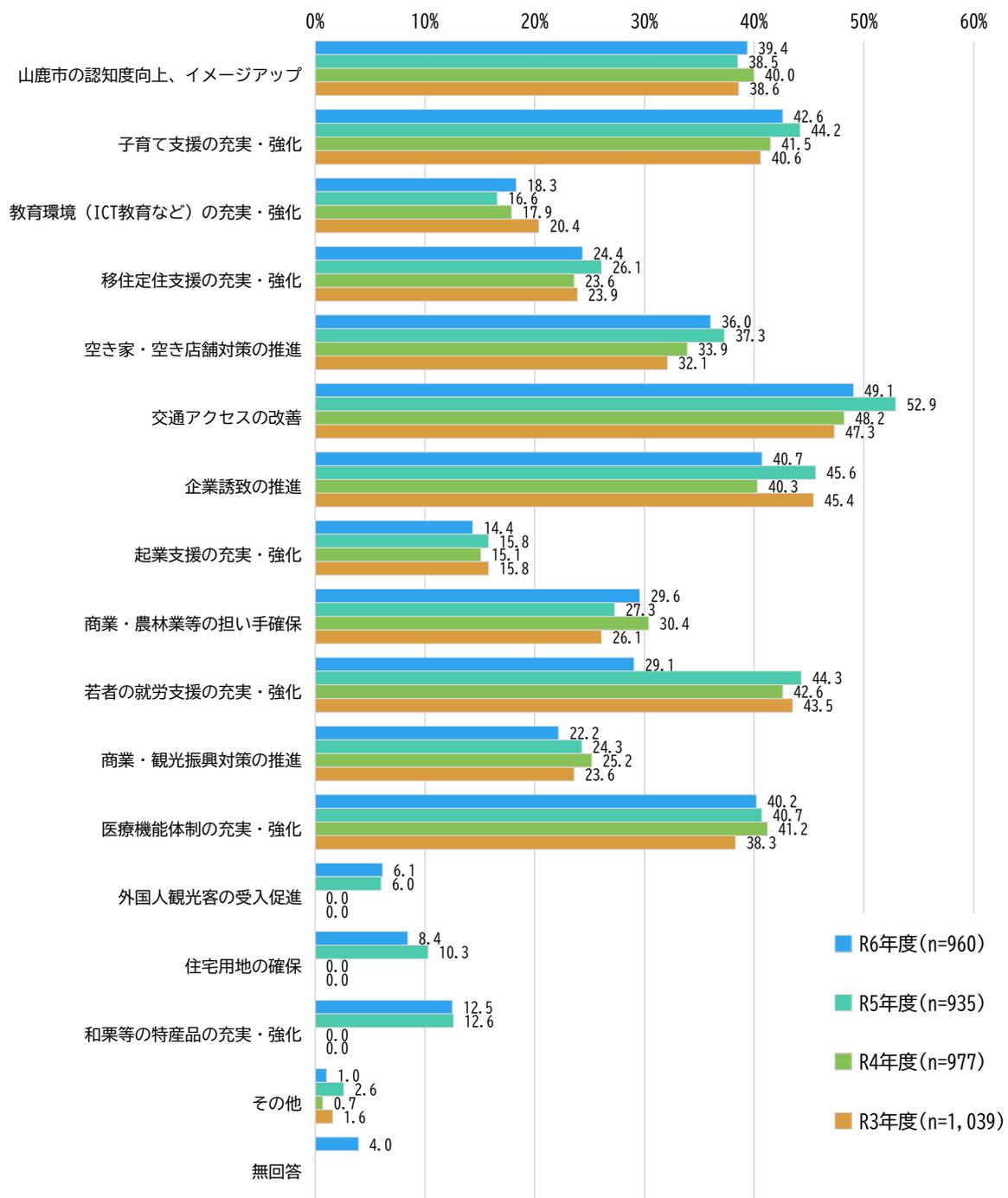
サービス付き高齢者向け住宅を希望している。

60年住んでいるが、元の家では交通手段がなくなり借家に住んでいるが、借家の代金が負担となっている。

問19 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるため、特に重要と思われる取組 (複数回答)

- 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組については、「交通アクセスの改善」が49.1%と最も高く、次いで「子育て支援の充実・強化」42.6%、「企業誘致の推進」40.7%となっており、「医療機能体制の充実・強化」も4割を超えている。また、R5年度との比較では「若者の就労支援の充実・強化」が15.2ポイント低くなっている。
- その他の意見として、「高齢者に優しい町づくり」「レジャーの充実」「少子高齢化を止める事」「若い層のイベントなど」「上下水道の整備」「老人福祉施設の充実・強化」「農林業、観光の発展」等の意見が挙げられている。

【全体】



問20 今後、充実すべき取組や、新たな取組等（自由記述）

○今後、充実すべき取組や、新たな取組等については、意見を分類し、項目ごとにまとめました。

※項目、意見の横（ ）内は件数

子育て支援・教育 (20)
給食費の無償化をしてほしい。(4)
子育て支援を充実してほしい。(4)
公園を整備してほしい。(2)
小児医療の充実をしてほしい。
小学校の人数が減少して3クラスとなり、山鹿小学校でも人口減少が感じられる。人数に対してクラス数は決まっていると思うが、教室の後ろまで机が並ぶので教室が狭く感じられる。
山鹿の子供の学力強化をして欲しい。
ICT教育強化をしてほしい。
山鹿小学校、山鹿中学校に子どもが集中し、個に応じた指導が不十分。市採用の教員を増やすべき。
いじめによる不登校が多いと感じる。
地元への定着を促進するために山鹿市内の高校に進学を推進してほしい。
一時的な給付金の支給ではなく、子育てにかかる費用の一部を無料にする。
高校の授業料に所得制限を設けるのはおかしい。
保育園児、小学生、中学生成長時、郷土愛の教育をすすめてほしい。

インフラ・環境整備 (20)
ごみ置き場の環境面や利便性の改善(4)
道路の白線が見えるようにしてほしい。(3)
鳥獣被害対策をしてほしい。(3)
道路の整備をして歩きやすくしてほしい。(3)
インフラ整備をしてほしい。
自転車の無灯火対策をしてほしい。
駐車違反の取り締まりをしてほしい。
悪臭被害の対策をしてほしい。
鹿本町にも上水道を整備してもらいたい。
鹿央に高速のスマート出口を作り3号線に接続する。
空き家対策を考える必要がある。

観光・文化振興・PR (32)
温泉地としてアピールしてほしい。(4)
豊前街道を整備してほしい。(3)
宿泊できる場所を増やしてほしい。(2)
山鹿灯籠の観光客を増やす。(2)
お土産店を充実させてほしい。(2)
特産品のアピールをしてほしい。
観光地を新規一転してほしい。
市全体のイベントの印象として、山鹿地域より菊鹿地域や鹿本地域の方が盛り上がっていると思う。
インバウンドよりも近隣県からの観光客や SNS で情報を発信してくれる世代をターゲットにしてマーケティングしていく。
空き体育館などを活用し、子供連れの観光客が楽しめる室内で楽しめるアクティビティなどがあるととても楽しめそう。
八千代座等の利用や CM が下手すぎる。
イベント頼りにならないような安定した観光客を確保する。
さくら湯周辺はお金をかけているわりには人が集まらなくて活気が全くない。
観光する場所とか温泉を巡るルートを何コースかほしい。
山鹿灯籠祭りに対して予算を使いすぎ。
シルクを使った何か手ごろなものでの山鹿らしさを発信する等があると良い。
山鹿灯籠時、トイレ・ゴミ箱設置してほしい。
山鹿市には良い温泉もあるのでその効能なども利用したスポーツの合宿（サッカー、陸上他）の誘致。
お酒巡りのできる温泉街のアピールをする。
山鹿にはワイナリー（菊鹿町）ウイスキー蒸留所（鹿央町）日本酒（山鹿市内）ビールがあり各々でのイベントが実施されているが、連携できたらもっと良いイベントになるのではないか。
山鹿灯籠、千人踊りのチケットを観光協会や市役所で直接購入できるようにしてもらいたい。
観光復興、特に力を入れてほしい。
山鹿灯籠祭りも地元が参加したくないようでは活性化しない。
山鹿の知名度を上げる。

空き家対策・遊休地の活用 (8)
耕作放棄地の活用や売買の支援をしてほしい。(3)
空き家をシェアハウスにするなど対策してほしい。(2)
商店街の空き家が多いので景観を整備してほしい。
田畑の荒れ地が多いので整備してほしい。
豊前街道の景観を整備してほしい。

医療・福祉の充実 (22)
小児医療を充実してほしい。(5)
福祉施設を充実してほしい。(4)
専門科の診療を充実してほしい。(4)
救急医療を充実してほしい。(2)
医療の質の向上
救急医療でちゃんと見てもらえる医師を置いてほしい。
病院の数はあるが予約でいっぱいと言われるのを改善してほしい。
手術対応できる先生がいてほしい。
ボランティアなどの人を集めて介護支援の強化をする。
まだ介護を受ける前の今、なるだけ1人で動けるようにちょっとした運動とかボケ予防を仲間とできたらいい。
国民健康保険税の負担軽減

地域活性化 (28)
温泉プラザを活性化してほしい。(5)
商業施設を誘致してほしい。(4)
飲食店を誘致してほしい。(3)
温泉施設を充実させてほしい。
市内外の方々に山鹿特産フェアは話題性があるので、特産品を山鹿市のPRに活かす。
山鹿市を挙げて強みのあるスポーツがあればいいと思う。
鹿北道の駅の再生をする。
旧三岳小学校の跡を活用してジビエ料理をされる方やジビエ肉の加工場などができるといい。
定住者にももっと暮らしやすい町づくり。
市そのものの活性化、市として発展している印象は全くない。
山鹿市にもドッグランを作してほしい。
スケートボード場を作してほしい。
高齢、人生の先輩の方々の技術をもっと教えてほしいので何か教室を作してほしい。
犬や猫に優しい町になってくれることを望みます。
有名衣料店や量販店など、若者が他の所へ行かず楽しめる所があるといい。
娯楽センターの誘致をしてほしい。
熊本一番のグルメ市をつくってほしい。
鹿本商店街がシャッター通りになっているのもっと賑わうようにしてほしい。
豊前街道の景観を整備してほしい。

企業誘致・雇用対策・人材育成 (44)
企業誘致してほしい。(14)
農林業への支援をしてほしい。(7)
若者の就労支援をしてほしい。(6)
TSMC 関連企業を誘致してほしい。(4)
山鹿の特産品や産業についての講習会を開催してほしい。(2)
安定した雇用の場の確保。(2)
高齢者が働ける場所がほしい。(2)
飲食店が長続きするよう家賃の見直しや補助金等で応援してほしい。(2)
障がい者雇用の枠をもう少し拡充してほしい。
e スポーツを充実させて企業と協力関係を結んでほしい。
農業や林業と観光に携わる人たちのスキルアップ。
働きやすい職場環境づくりの整備の推進
人材の発掘をする。

交通アクセスの改善 (44)
交通アクセスを良くしてほしい。(12)
鉄道を作してほしい。(4)
バスを増やしてほしい。(4)
相乗りタクシーを増やしてほしい。(3)
高速道路を整備してほしい。(3)
駐車場を確保してほしい。(3)
タクシーチケットを配布してほしい。(2)
高齢者の交通移動に関する支援 (2)
以前あった西鉄バス (山鹿～鹿北～久留米) を復活してほしい。
熊本空港までの交通手段を整備してほしい。
循環バスでお年寄りの移動を助ける。
事前事故防止対策 (自転車の無灯火対策、道路の白線の明確化等) をする。
駐車違反を取り締まる。
交通弱者へのインフラや環境対策
交通アクセス (市内や福岡など近隣県) を市民は格安にしてみる。
ライドシェアなども取り入れてもいいのではないか。
鹿央町あたり的高速から、山鹿市内に通じる道路を整備する。
通学路に押しボタン式の信号機を設置してほしい。
大道校区は車が大変多いのですが、歩行者道路がない。

行政への要望 (48)
税金を軽減してほしい。(7)
アンケート内容を考えてほしい。(6)
市の取り組みを知らないのもっとPRしてほしい。(6)
市民の意見をもっと聞いてほしい。(4)
給付金を平等にしてほしい。(3)
子育て支援を充実してほしい。(2)
若者の意見を取り入れてほしい。(2)
健幸都市宣言の取り組みをもっとしてほしい。(2)
農家への支援をしてほしい。
独身世帯への支援をしてほしい。
公共施設の整備に適切な税金の使用をしてほしい。
鹿本郡市時代に戻った方がよい。
市営団地の保証人制度の撤廃
市議の定員を減らす。
年金事務所を山鹿にも作ってほしい。
市民税、区費などを払わない人への対策
もっと健康福祉センターの使用方法を簡単に安く、老人、若者、障がい者が集まれる施策等考えて玉名市横島町のゆとりーむみみたいな使い方はできないか。
水道料金を安くしてほしい。
高齢者への支援をしてほしい。
山鹿市の人口の現状維持対策を優先した方がよいのではないか。
市役所職員の対応を良くしてほしい。
広報やまがの配布について回覧板と一緒にまわし、各自が受け取る形の方が効率が良いかと思う。
もっといろいろな分野の人達と連携を取り、お互い共有できる所がある場合や、その分野にたけている人々の意見を聞き入れてほしい。
感染症に関する助成金等の支援を充実してほしい。

その他 (10)
協力しあえる環境ができれば、新たな取り組みも生まれると思います。
大変お世話になっております。ありがとうございます。様々な取組の成功を願っています。
よい山鹿を作ってください。
変化をあまり感じません。
何か日本一があればいい。
ご本人が障害をもたれている為答えかねます。
97才の母を看ている為いろんなことはあまりわかりません。生活、自分達のことので精いっぱいです。
文化の近代化。古い因習からの脱却。改革。
いつまでも自宅で暮らせる生活が欲しい。
82才になりすべてにあまり意欲がありません。すみません。

第3章 総括

I 山鹿市の現状について

- 人口減少については、約8割が『危機感がある』と回答している。
- 元気度については、前回同様に5割が『活気がない』と回答しており、『活気がある』がR4年度以降は2割台となっているが、30代までの若い世代では『活気がある』が『活気がない』を上回っている。また、鹿央地域では他の地域と比べて『活気がある』が低くなっている。
- 農林業の現状については、6割が『衰退している』と回答している。
- 観光産業の現状については、4割が『活気がある』と回答しており、『衰退している』を上回っている。また、R4年度までは『衰退している』が『活気がある』を上回っていたが、R5年度以降は『活気がある』が高くなっており、R6年度では4割台となっている。
- 人口減少や農林業の衰退に対する懸念が強い一方で、観光産業は活気があると感じる割合が増加している。

II 人口政策について

- 人口政策で充実してほしい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が25.7%と最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」25.5%、「移住定住の促進」18.6%となっている。
- 人口政策の満足度について、『満足』の割合が最も高い政策は「子育て支援事業」28.1%、次いで「小児医療体制の充実」24.4%、「山鹿市国土強靱化地域計画の推進」20.0%となっている。また、『不満』の割合が最も高い政策は「小児医療体制の充実」22.9%、次いで「夢と希望を叶える就労支援事業」22.3%、「やまが暮らし支援事業」18.5%となっており、「小児医療体制の充実」について満足度は2番目に高いが、不満度では最も高くなっている。
- 人口政策の重要度について、どの政策も『重要』の割合が『重要でない』を上回っており、特に「夢と希望を叶える就労支援事業」「医師・看護師修学資金を活用した人材育成」「新規就農総合支援事業」「小児医療体制の充実」「子育て支援事業」は6割を超えている。
- 重点改善項目（重要度が高いが、満足度が低い）として、「夢と希望を叶える就労支援事業」「医師・看護師修学資金を活用した人材育成」「新規就農総合支援事業」「小児医療体制の充実」が挙げられている。

【自由記述より】

◆夢と希望を叶える就労支援事業

- 「勤める場所が少ない」など、若者や市民が就職できる企業が不足していることが訴えられており、市民が支援策や取組についての情報を得られていないこと等が指摘されている。
- 地域の魅力を高めるためには、就労環境の改善が不可欠であり、このような状況を打開するために、特に企業誘致や情報発信、賃金の改善等の声が挙げられている。

◆医師・看護師修学資金を活用した人材育成

- 山鹿市では医師や看護師が不足しているとの声もあり、特に出産ができる産婦人科がなく小児科も少ないため、安心して医療を受けられない状況が続いているという意見が多くみられた。
- 修学資金制度があるにもかかわらず、医療従事者が地元に残らない理由として、地域医療や医療従事者の待遇の魅力不足、山鹿市に残って活躍する場の少なさ等が挙げられている。
- 医療制度や支援策についての情報が市民に十分に伝わっておらず、活用されていないとする制度の周知や認知度不足との意見が多く、改善が求められている。
- 地域医療の後継者確保や医療機関の存続に対する不安が広がっており、高齢化が進む中で、リモート診療や近隣行政との連携という提案も挙げられている。

◆新規就農総合支援事業

- 後継者・若者の人材不足、農業従事者の高齢化が進んでいることを懸念する声が多く挙げられており、農業の収益性向上と働きやすい環境の整備、農業の未来に対する不安を訴える意見もみられた。
- 本市の基幹産業である農業を支えることを目的に人材育成を支援する事業について、「支援内容が具体的にわからない」等、農業支援情報発信が不足していることが指摘されている。
- 人材不足に陥る理由の分析、新規就農希望者とのマッチング等による育成、農業の法人化という具体的な対策も挙げられている。

◆やまが暮らし支援事業（移住定住支援事業）

- 空き家の増加が地域の衰退を招いており、移住者を呼び込むためのPRや、「災害が少ない」等、定住者が将来を描けるような定住の利点・特徴を具体的にアピールすることなどが訴えられている。
- 「支援事業をあまり知らない」等、空き家対策や移住支援に関する情報が市民に十分に伝わっておらず、利用者が少ない現状が指摘されている。移住定住者だけではなく、山鹿市民に対しても情報の周知、活用できる支援が欲しいとの意見も挙げられている。
- 空き家の活用だけでなく、周辺の住環境を整えることや、家族を支える収入が得られる仕事に移住促進には不可欠である。空き家の管理が不十分という声や、再利用を促進するための手続きの簡素化を求める意見もみられた。

◆地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業

- 高齢者や障がい者が安心して生活できる支援体制の充実を求める声が多くみられた。
- どこに相談すれば良いのかわからない、相談に行っても市役所や行政の対応が事務的で、親身になってくれないという意見もみられた。
- 支援事業の存在や内容についての情報不足、地域共生の名の下での負担の偏りや、若者の参加意欲の低下が懸念されている。

◆山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進

- 内容や取組自体がわからない、具体的な取組や成果がみえないという意見が多く、和水町との連携のメリットが不明であり、具体的なシナジー効果やそのための手段が示されていないことが指摘されている。
- 地域の活性化や人口政策に対する具体的なアプローチ、公共交通機関の利便性向上や交通インフラの整備、他の市町の取組を導入する、活力のある自治体との連携の必要性が訴えられている。

◆山鹿市国土強靱化地域計画の推進

- 現在の防災計画や河川工事の進捗状況が不明確であり、取組や活動内容がわからない、具体的な取組が見えないことに不安を感じている。
- 災害が発生した際の支援体制についても疑問が呈されており、復旧や復興が遅れているとの指摘がある。
- 大規模災害を想定した避難所の不足を懸念する声、地域ごとの防災対策に格差があり、情報不足を感じているという意見もみられた。

◆小児医療体制の充実

- 深刻な産婦人科や小児科不足、緊急時に対応できる医療機関の不足を訴える声、小児科医の不足、夜間・休日の対応の不備が問題視されている。また、医師の高齢化の進行による将来的な医療体制への不安を抱く人たちの声が多数寄せられている。
- 地域の子育て環境を充実させ、子育てに対する不安を取り除くためにも地域医療の充実が求められている。

◆母子保健事業

- 「山鹿市に安心して出産できる施設がない」といった意見が多く、地域の医療施設不足が懸念されている。
- 不妊治療のさらなる支援、不妊治療費等の経済的な負担を軽減するための支援が求められており、無痛分娩の助成金制度等、具体的な制度の導入を提案する意見もみられた。
- 市民に対する具体的な取組内容、体制支援の情報提供が不足していることを指摘する声や出産後の支援や子育て環境の整備を求める声も挙げられている。

◆子育て支援事業

- 共働き世帯の増加に伴い、病児保育の拡大や夜間診療を求める声、産婦人科や小児科の不足を問題視する意見もみられた。
- 子育てサービスを利用する際の手続きの簡素化、利用者のニーズに合ったサービスの提供が求められている。
- 支援制度の情報が市民に十分に伝わっていない、子どもが安心して遊べる公園や施設の整備や教育費の負担軽減を求める声も挙げられている。

Ⅲ 経済政策について

- 経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」が46.9%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」30.2%、「新たな交流の促進」9.7%となっている。
- 経済政策の満足度について、『満足』の割合が最も高い政策は「菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造」31.5%、次いで「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」28.2%、「スポーツコンベンション誘致推進事業」23.2%となっている。また、『不満』はどの政策も1割前後となっている。
- 経済政策の重要度については、どの政策も『重要』が『重要でない』を上回っており、その中でも最も高い政策は「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」61.4%、次いで「山鹿米のブランド化と販路拡大」59.6%、「スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立」58.8%となっている。
- 重点改善項目（重要度が高いが、満足度は低い）としては、「山鹿米のブランド化と販路拡大」「スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立」が挙げられている。

【自由記述より】

◆ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）

- 温泉やグルメなどの地域資源が十分に活用されておらず、観光地としての魅力が低下していること、市外の人々が山鹿の地域資源を知らないことに対する疑問があり、アピールや宣伝が不十分であることが指摘されている。
- 「eスポーツでどのように山鹿が活性化していくのかが見えづらい」等、eスポーツの推進が地域活性化にどのように寄与するのかが不明であり、単なるゲーム普及に過ぎないとの意見もみられた。
- 山鹿市の交通の不便さが指摘されており、公共交通機関の強化や利便性の向上が求められている。
- 「政策の結果が出ている実感は市民には全くない」等、市民は観光地再生や地域振興に対する期待がある一方で、行政の取組に対する不満も強い。

◆観光戦略プロモーション（福岡ターゲット構想）

- 山鹿市の知名度を上げるためには、観光資源の魅力を高めること、特に温泉や文化的な資源を活かした新しい観光コンテンツの開発、山鹿市独自の魅力を打ち出す等、独自性の強化が求められており、そのためには交通アクセスの向上が観光促進に不可欠であることが指摘されている。
- 福岡をターゲットとすることを疑問視する声も寄せられており、福岡以外の地域からの観光客にも目を向ける等、ターゲット戦略の見直しを提案する意見も挙げられている。

◆菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造

- 「成果がみえない」という意見が多くみられ、新シルク蚕業の取組内容が分からないという声も挙げられており、地域の取組や成果を市民に広く知らせる広報活動や地域住民との関係を深めることが求められている。
- 公共交通機関がないため、訪問者がワインを楽しむことが難しいと指摘されている。

◆スポーツコンベンション誘致推進事業

- スポーツ施設の充実と宿泊施設の不足、施設の整備等（芝のグラウンドや室内施設）、誘致する前に受け入れ態勢を強化する必要性、ハンドボールの振興、交通の便や周辺環境の整備が求められている。
- 駅伝チームや野球のキャンプの合宿等の誘致を求める意見もみられた。

◆豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト

- 地域全体の活気が不足している、空き店舗が多く、観光客を呼び込む妨げになっていることが指摘されており、独自の魅力を持つ店舗や体験型施設の必要性を訴える声もある。
- 「駐車場が少ない」との意見が繰り返され、観光客や地元住民にとってアクセスの不便さを問題視する声や地域の活性化に向けた支援不足を訴える意見も挙げられている。

◆山鹿米のブランド化と販路拡大

- 「山鹿米はそれほど目立っていない」「山鹿米をあまり見かけない」といった意見があり、山鹿米の知名度向上、積極的な広報活動が求められている。
- ブランド化の明確な方向性、地域の特性を活かした米の消費促進等、地産地消の推進の声も挙げられており、農業での安定した収入による人材の維持・確保、品質向上と研究の必要性を求める意見もみられた。

◆スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立

- 高齢化が進む中で、農業が衰退している現状を憂慮する声が多くみられた。
- 農業の後継者が不足している一方で、耕作放棄地が増えている現状を指摘し、これらを活用する必要性を訴える意見も挙げられている。
- 資金がない農家がスマート農業を導入するのが難しいことが指摘されており、支援策の必要性、農業の重要性を再認識し、個人への支援を増やすべきだと訴える声、高齢者の農家も取り入れやすい仕組みづくりを求める意見もみられた。
- 農業支援に関する情報が周知されていないとの意見もあり、広報活動の強化が重要だとする意見も挙げられている。

IV 山鹿市総合計画について

- 将来の都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」が 25.5%と最も高く、次いで「住みやすく子育てしやすい環境の充実」22.4%、「健やかで安心して暮らせる地域の実現」21.9%となっている。
- 総合計画の先導施策の満足度について、『満足』の割合が最も高い施策は「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」33.2%、次いで「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」24.8%、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」22.3%となっている。
- 重要度については、どの施策も『重要』が『重要でない』を上回っており、その中で最も高い施策は「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」70.3%、次いで「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」66.9%、「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」64.8%となっている。
- 重点改善項目（重要度が高いが、満足度は低い）としては、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」が挙げられている。

【自由記述より】

◆多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり

- 「認知度が低い、市民すら知らない人が多い」という PR 不足を訴える意見、人材募集の必要性、文化面での支援は重要だが具体的な支援策が不明瞭であるという意見があげられている。
- 地域資源を活用するための取組が不足しており、外部からの認知度向上が必要であり、地域の魅力を高めるための具体的な施策、企業誘致等、特に雇用創出や地域資源の活用、PR 活動の強化が求められている。

◆結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり

- 子育て世代への支援・環境整備を求める声が多く、特に出産できる病院や医療機関の不足、教育の充実、子ども達が安全で過ごせる場所の必要性を訴える意見が多くみられた。
- 空き家を活用した移住・定住促進など、若者が住みやすい環境を整える、独身者の結婚や出会いの機会不足の解消、地域全体の活性化が子育て環境の改善や人口増加に繋がるとの意見も挙げられている。

◆若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり

- 本市の未来を担う有望な人材を育成するという事業に対して、教育機関での環境整備、地域の未来を担う子どもたちの意見を尊重することが重要であるとの意見も挙げられている。
- 若者が地元に残るためには、質の高い教育と就業機会の提供が不可欠であり、そのためには企業誘致を行い雇用の場を増やし、若者が地元の魅力を感じる職場環境の整備が求められている。

◆安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり

- 安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくりをするためには、災害に強いインフラの整備が必要であり、地域によって整備の頻度に差があることも指摘されている。
- 高齢者は車を持っていないことも多いため、避難の難しさや災害時の避難方法や場所が個人によって異なり、周知が不十分であることが懸念されている。

◆誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり

- 医療機関の充実や救急医療への不安を訴える声が多く挙げられている。
- がん検診等の受診率が低く、特に若者の意識が低いため、受診率向上のためには積極的な支援や啓発、健康で1年間病院に行かなかった場合の保険料還付することが提案されている。

V 山鹿市に対する考えについて

- 山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が45.8%と最も高く、次いで「どちらでもない」29.6%、「暮らしにくい」18.1%となっている。
- 山鹿市での今後の定住意向については『住み続けたい』が65.7%となっており、約7割は定住を希望していると回答している。
- 過去調査との比較では、R5年度までは『住み続けたい』が7割台となっているが、R6年度は6割台となっている。
- 山鹿市に『住み続けたい』理由については、「自然環境に恵まれている」が50.6%と最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」39.3%、「地域での人間関係がよい」31.4%となっている。その他の意見として、「土地、家があるから」「持ち家があるから」「先祖からの土地であるため」「生まれ育ったところ」「温泉がある」等、持ち家、生まれ育った場所への愛着等の声が挙げられているが、高齢化による転居の難しさを訴える意見もみられた。
- 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組については、「交通アクセスの改善」が49.1%と最も高く、次いで「子育て支援の充実・強化」42.6%、「企業誘致の推進」40.7%となっており、「医療機能体制の充実・強化」も4割を超えている。また、R5年度との比較では「若者の就労支援の充実・強化」が15.2ポイント低くなっている。その他の意見として、「高齢者に優しい町づくり」「レジャーの充実」「少子高齢化を止める事」「若い層のイベントなど」「上下水道の整備」「老人福祉施設の充実・強化」「農林業、観光の発展」等、さまざまな意見が挙げられている。

【自由記述より】

◆暮らしにくい理由

- R5年度調査と同様に、公共交通機関の少なさなど「交通アクセスの不足」による買い物や通院の不便を訴える声、医療体制の整備を求める意見が多くみられ、特に高齢者や子育て世代にとって深刻な問題であることが示されている。
- 「地域に店がなく買い物等で将来心配がある」「大型のショッピングモールがないので熊本市内に行く事もある」という商業施設の不足を訴える意見もあり、買い物の選択肢が限られていることが指摘されている。
- 税金の高さへの不満を訴える意見もあり、経済的負担が生活の質に影響を与えていることが強調されている。
- 地域の排他性や古い慣習が新しい住民や若者にとっての障壁となっているという声も挙げられている。

◆市外へ転居したい理由

- 交通の便が悪く、車がないと生活が困難であるため、病院や買い物の際の不便さ、免許返納後の不安を訴える意見が多くみられた。
- 「医療の充実」「娯楽や商業施設等の不足」「地域付き合いの気苦勞」「税金の高さ」等、よりよい生活環境を求め他の地域への転居を考える人が多いことが示されている。

VI 今後、充実すべき・新たな取組

【今後、充実すべき取組や新たな取組等について】

- ・物価高騰への対応：給食費の無償化や物価高騰による給付金の支給は低所得世帯だけではなく、全世帯に行うべきとの意見もあり、物価高騰への支援が求められている。
- ・交通アクセスの改善：「熊本市内から 30 分以内行き来できる交通手段が必要」との意見が多く、特にバスの便を増やすことや新しいルートの開設が求められている。
- ・企業誘致：「企業誘致を拡大していくことが山鹿市の発展への最も近道」との意見があり、特に TSMC 関連の企業誘致が期待されている。就労場所が増えることで若者の定住や商業の活性化、人口増加が見込まれる。
- ・福祉と医療の充実：「医療の環境強化」「福祉施設の増加」が求められており、高齢者や子育て世代への支援が重要視されており、特に、安心して子どもを産み育てられる環境作りが必要とされている。
- ・地域の魅力向上と PR 活動：「山鹿の魅力を大々的に取り上げて広めて全国から企業、移住者が集える都市を目指してほしい」との意見があり、観光資源や特産品の PR が重要視されており、地域のイベントや文化活動を活かした取組が求められている。